



SPORTS & CULTURE

平成29年度

NO.

14

マルセン



平成29年度 マルセン14号

発行日／平成30年3月

発行所／公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団

所在地／〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町1丁目2番4号

電話／(086) 800-0077 ファックス／(086) 800-0055

URL <http://www.marusen-zaidan.or.jp/>

(本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています)



公益財団法人

マルセンスポーツ・文化振興財団

 CONTENTS

ごあいさつ	2
財団法人の概要	3
役員・評議員名簿	6
平成 29 年度 事業報告	7

I 公益事業

第1章 助成事業関係

1 スポーツ活動に対する助成	7
2 文化活動に対する助成	8

第2章 表彰事業関係

1 マルセン大賞	10
2 マルセン特別賞	10
3 マルセン賞	10

贈呈式	12
-----	----

受賞者からのひとこと

1 マルセン文化大賞	難波 滋	13
	森 陶岳	14
2 マルセンスポーツ特別賞	佐藤 友祈	15
3 マルセンスポーツ賞	岡田 直也	16
	倉敷高等学校陸上競技部	17
	第 71 回国民体育大会弓道競技 成年男子岡山県選抜	18
	森定 照広	19
4 マルセン文化賞	吉備神楽社	20
	木村 善明	21

ホットコーナー	星野仙一さん 最後まで野球に情熱	22
	岡山市在住の将棋棋士 菅井竜也 王位 平成生まれ初のタイトルホルダー「僕はまだまだ強くなれる」	24

第3章 イベントの開催

1 スポーツ	26
2 文 化	26

第4章 広報啓発育成事業	27
--------------	----

II 財団の活動

法人管理	29
------	----

お知らせ

マルセンスポーツ・文化活動助成事業について	30
活動助成事業申請書	31
同 記載例	32

資 料

事業の記録	助成 表彰 イベント・後援等	33
平成 28 年度 収支計算書		41
貸借対照表		42



ごあいさつ

当財団は、岡山県のスポーツ及び文化の振興発展と県民の皆さまが健康で豊かな心をもって生活できる環境・社会の実現を願い平成16年2月に財団法人として設立し、平成25年4月1日公益財団法人へ移行いたしました。岡山県を元気に活動し続け、設立から14年目を迎えることができました。これも運営にあたりご協力をいただきました皆さま方のおかげと厚く御礼申し上げます。

平成29年度もスポーツ・文化活動に対する助成、表彰やスポーツ・文化活動に関するイベント開催、広報啓発活動及び後援・協賛を実施してまいりました。特に今年度は2020年東京オリンピック・パラリンピックまでの間実施される文化プログラムにおいて、beyond2020認証を受け、日本美術院のご支援のもと井手康人(同人)先生による「日本画教室」を実施いたしました。また、選考委員としてお努めいただいている備前ミュージアム館長白井洋輔氏により、閑谷学校や石の懸樋など津田永忠の事跡を巡る研修会を初めて実施いたしました。ご縁に恵まれて充実した活動を行うことができましたこと、お力添えをいただきました皆さまに感謝いたしますと共に、今後も県民の皆さまのお役にたてますよう活動してまいりたいと考えております。

この度、今年度の活動記録といたしまして、「マルセン」第14号発刊の運びとなりました。どうぞご高覧いただければ幸いに存じます。発刊にあたりご協力を賜りました関係各位に心より感謝申し上げます。

今後とも地域の皆様のスポーツ・文化活動に貢献できますよう、より一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年3月

公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団
理事長

千原 多美子

財団法人の概要

I 概要

マルセンスポーツ・文化振興財団は、平成16年2月20日付けで岡山県教育委員会の許可を得て財団法人として設立されました。その後、国における公益法人制度の抜本改革として制定された公益法人制度改革に係る3法が平成18年6月2日に公布。平成20年12月1日施行。平成25年4月1日、公益財団法人として新たに歩み始めました。

当財団は、定款第3条に「岡山県のスポーツ・文化の振興発展を支援するとともに県民が健康で豊かな心を持って生活できる環境・社会の実現に寄与することを目的とする。」と規定し、その目的達成のため、次の5項目

- 1 スポーツ・文化活動に対する助成
 - 2 スポーツ・文化活動に対する表彰
 - 3 スポーツ・文化に関するイベントの開催
 - 4 スポーツ・文化に関する広報啓発育成事業
 - 5 その他目的を達成するために必要な事業
- を定め活動しております。

II 沿革 (概要)

平成16年2月20日	財団設立
平成16年2月27日	事務所を岡山市富町二丁目4番4号に設置
平成16年3月26日	初代理事長に千原多美子就任
平成16年12月14日	第1回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成16年12月23日	第1回スポーツイベント協賛（第23回山陽女子ロードレース大会）
平成17年2月28日	晴れの国おかやま国体へ助成
平成17年3月10日	広報誌「マルセン創刊号」発刊（表紙 高橋秀氏「InAria『宙』」）
平成17年3月11日	第1回広報啓発育成事業（チケットプレゼント）実施（岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会）
～ 以下 抜粋 ～	
平成18年1月13日	財団のロゴマークの選考・決定
平成18年4月1日	公益法人指導監督担当課の変更により岡山県教育委員会から岡山県知事所管となる
平成18年8月4日	コミュニティライブラリーの設置（岡山市駅前・岡山会館1階） 「晴れの国おかやま国体写真展 ああ感動をもう一度！」 表彰者紹介コーナー・映像コーナーの設置
平成18年11月3日	第1回文化イベント開催（川島 基ピアノリサイタル）
平成19年11月2日	第19回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア2007 岡山」「生涯学習見本市」に出展
平成20年3月8日	第1回スポーツイベント開催（少年サッカー教室（岡山湯郷ベル））
平成20年12月1日	新公益法人制度施行により「特例民法法人」となる
平成21年7月17日	事務所を岡山市北区駅前町一丁目2番4号へ移転
平成22年8月12日	新田佳浩氏（スポーツ大賞）表敬訪問
平成23年7月8日	新公益法人制度移行に伴う「最初の評議員の選任方法」の認可
平成23年7月26日	RSKラジオ「おかやま元気応援団」放送開始（活動助成団体による活動状況）

平成 24 年 9 月 21 日	公益法人認定に向けて「移行認定申請書」提出（岡山県知事）
平成 25 年 3 月 8 日	岡山県公益認定等委員会から移行認定答申
平成 25 年 3 月 18 日	認定通知書（交付）
平成 25 年 4 月 1 日	公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団と改称
平成 25 年 6 月 26 日	定時理事会及び定時評議員会において 「収益事業の廃止及び定款の一部変更（案）」及び「定款変更申請」承認
平成 25 年 7 月 20 日	第 1 回岡山県文化のつどい開催 「美作国建国 1300 年」（共催） ～津山洋学・知は海より来る～ 講師 臼井洋輔氏・下山純正氏 同 2 回目 9 月 19 日 「日本から始まった柔道文化」講師 古賀稔彦氏
平成 25 年 8 月 13 日	創立 10 周年記念展「表彰者色紙展及び自然と遊ぶ写真展」の開催（～ 18 日） （写真提供 監事 信朝 寛氏）
平成 25 年 9 月 12 日	岡山県老人福祉施設協議会へ「写真の贈呈」
平成 25 年 12 月 6 日	定款変更認定（収益事業廃止）
平成 26 年 6 月 4 日	ホームページをリニューアル
平成 26 年 9 月 15 日	財団新 CM 放映開始。
平成 27 年 8 月 10 日～ 11 日	高体連ソフトテニス専門部強化事業に講師派遣（職員：杉本瞳）
平成 28 年 6 月 3 日	マルセン文化教室「第 1 回井手康人の日本画教室」（社会人対象）開催 第 1 回井手康人の日本画教室参加者作品発表会開催（春の院展会場にて）
平成 28 年 9 月 29 日	第 71 回国民体育大会に千原多美子理事長・杉本瞳職員（ソフトテニス成年女子選手） を派遣（～ 10 月 4 日）
～平成 29 年度～	
平成 29 年 5 月 10 日	平成 29 年度臨時第 1 回理事会（書面）開催
平成 29 年 5 月 23 日	平成 28 年度監査の実施
平成 29 年 5 月 31 日	第 1 回選考委員会開催（表彰関係）
平成 29 年 6 月 11 日	マルセン文化教室「平成 29 年度第 1 回（第 3 回）井手康人の日本画教室」開催
平成 29 年 6 月 12 日	平成 29 年度定時第 1 回理事会及び臨時第 1 回評議員会開催
平成 29 年 6 月 27 日	平成 29 年度定時第 1 回評議員会（書面）開催（役員、評議員重任）
平成 29 年 6 月 30 日	野崎誠二評議員退任
平成 29 年 7 月 7 日	平成 29 年度臨時第 2 回理事会（書面）開催（理事長、常務理事選定）
平成 29 年 7 月 10 日	おかやま COOLCHOICE! 宣言団体に承認
平成 29 年 7 月 18 日	原 憲一評議員退任 平成 29 年度臨時第 2 回評議員会（書面）開催（桑田茂氏、塩飽哲文氏評議員に選任）
平成 29 年 8 月 6 日	マルセンスポーツ教室「岡山シーガルズのバレーボール教室」開催（小学生対象）
平成 29 年 8 月 17 日	チケットプレゼント（山陽新聞レディースカップ）。東兎が丘マリンヒルズ GC
平成 29 年 10 月 16 日	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2017」放送開始（～ 11 月 8 日）
平成 29 年 10 月 28 日	マルセン文化教室「臼井洋輔氏と共に閑谷学校と津田永忠の事跡を巡る研修会」開催
平成 29 年 11 月 15 日	平成 30 年度活動助成金応募受付開始（～平成 30 年 1 月 22 日）
平成 29 年 11 月 17 日	第 2 回選考委員会（書面）開催（県文化連盟協賛、県体協名義後援）
平成 29 年 12 月 4 日	平成 29 年度臨時第 3 回理事会（書面）開催（県文化連盟協賛、県体協名義後援）
平成 29 年 12 月 14 日	チケットプレゼント（再興第 102 回日本美術院展覧会岡山会場） Beyond2020 認証を受ける（第 4 回井手康人の日本画教室）
平成 29 年 12 月 24 日	マルセン文化教室「平成 29 年度第 2 回（第 4 回）井手康人の日本画教室」開催 （中高校生対象）
平成 30 年 1 月 18 日	チケットプレゼント（第 32 回倉敷音楽祭 倉敷のヴィルトゥオーゾ Vol.3 倉敷ゆかりの若手プレーヤーによる室内楽コンサート 倉敷芸文館）

平成 30 年 1 月 25 日	チケットプレゼント（備中温羅太鼓 総社市民会館）
平成 30 年 2 月 15 日	平成 29 年度臨時第 4 回理事会（書面）開催（臨時第 2 回評議員会開催日程）
平成 30 年 2 月 22 日	第 3 回選考委員会開催（活動助成団体候補者、協賛事業選定）
平成 30 年 3 月 23 日	川端英男氏評議員退任 平成 29 年度定時第 2 回理事会及び臨時第 3 回評議員会開催（次年度事業予算事 業計画、土井雅人氏評議員に選任、顧問選任（重任）
平成 30 年 3 月 吉日	広報誌「マルセン」14 号発刊

役員・評議員名簿

平成30年3月31日現在

役員			定数 8 名
役 職 名	氏 名	会 社 名	
理 事 長	千 原 多美子	(株)成通 取締役	
常務理事	千 原 秀 則	(株)センインターナショナル 代表取締役社長	
理 事	加 計 孝太郎	(学)加計学園 理事長	
〃	川 崎 誠 治	(学)川崎学園 理事長	
〃	越 宗 孝 昌	(株)山陽新聞社 取締役会長	
〃	吉 岡 洋 介	(公財)ワコースポーツ・文化振興財団 理事長	
監 事	衣 笠 和 孜	岡山療護センター センター長	
〃	小 林 彬 二	元岡山県美作県民局長	
			五十音順 敬称略

評議員			定数10名
役 職 名	氏 名	会 社 名	
評 議 員	石 井 正 人	岡山ネットワーク(株) 代表取締役社長	
〃	川 端 英 男	テレビせとうち(株) 代表取締役会長 (3月23日退任)	
〃	北 尾 好 昭	(株)瀬戸内海放送 常勤顧問	
〃	桑 田 茂	山陽放送(株) 代表取締役社長 (7月19日就任)	
〃	塩 飽 哲 文	岡山エフエム放送(株) 代表取締役社長 (7月1日就任)	
〃	千 原 行 喜	(株)成通 代表取締役社長	
〃	土 井 雅 人	テレビせとうち(株) 代表取締役社長 (3月24日就任)	
〃	中 川 弘 之	西日本放送(株) 岡山本社 中国総支社 支社長 (4月1日就任)	
〃	中 静 敬一郎	岡山放送(株) 代表取締役社長	
〃	野 崎 誠 二	岡山ネットワーク(株) 代表取締役社長 (6月30日退任)	
〃	原 憲 一	山陽放送(株) 代表取締役会長 (7月18日退任)	
〃	平 松 掟	平松弁護士事務所 (元日本弁護士連合会副会長)	
〃	藤 田 土 義	(株)成通 相談役	
			五十音順 敬称略

顧 問			定数 3 名
役 職 名	氏 名	所 属	
顧 問	伊 東 香 織	倉敷市長	
〃	大 森 雅 夫	岡山市長	
〃	田 中 建 治	前財団事務局長	
			五十音順 敬称略

平成29年度 事業報告

(I)公益事業

第1章 助成事業関係

岡山県内において、スポーツ・文化の振興及び発展に寄与するため下記の諸事業に助成を行いました。

1 スポーツ活動に対する助成 (応募数 /22 件 採用件数 /9 件)

番号	団体名	活動名	活動目的 (内容)
1	岡山オープンバドミントン大会実行委員会	第14回岡山オープンバドミントン大会	岡山県内選手の強化を目指し、全国規模の高校生の大会を誘致することで、県内に在住する各高校（一部中学生を含む）バドミントン競技者の育成・発展を図り、併せて体位の向上を選手並びに指導者・監督間の親睦と融和を目指すため実施致しました。また、開催日程を全国高校選抜大会の直後に設定することで、全国大会へ出場した上位レベルの学校も多数参加し、女子は岡山市内の2会場を男子は笠岡市内の3会場を使用して約2.5日の日程で実施致しました。 会場の選択は参加数の多い女子を岡山市へ、一方笠岡地区振興に貢献するという観点で男子は笠岡市内へ競技会場を設け、これからも大会参加者並びに各高校の監督に少しでも充実感のある大会に仕上げ、毎年この大会が次の全国高校総合体育大会（インターハイ）出場につながるように配慮して実施をしたい。
2	公益社団法人岡山青年会議所	第1回キッズスポーツフェスティバル2017～見つけよう！岡山発の魅力と誇り～（サッカー編）	岡山の貴重な資源である「ファジアーノ岡山」に協力をいただきサッカー事業を開催しました。ただのサッカー教室で終わらせないため、ラジオ体操のあと、準備運動は天然芝の上で裸足になって鬼ごっこや馬跳びを実施しました。子供たちにとって非常に良い経験となりました。 サッカー教室では多くのコーチに加え、選手6人も参加し、参加者に対し、細やかな指導ができました。100対100では、ピッチ全体を3コートに分け、30対30の試合を同時に3コートで実施しました。参加者は、習ったばかりの技術を存分に発揮していました。そして予想以上の子供たちの迫力に選手も圧倒されていました。 事業後は公式戦の観戦を案内しております。当日事業の受付では参加者209名の内、夢パス（小学生限定の無料入場券）を持っていない参加者155名に発行しました。 準備運動からサッカー教室、100対100まで参加者の元気な声と、笑い声が絶えない、非常に盛り上がった事業となりました。終了後のアンケートでも、「子供のたくましい姿に感動した」「何かスポーツを始めさせたい」「また観戦をしたい」など多くのお言葉を頂戴しました。また強制ではないにも関わらず、200名中130名を超える参加者が試合に自主的に足を運んだことは、スポーツの楽しさが伝わったと感心しております。大きな怪我やトラブルもなく、無事終了することができました。
3	勝山野球スポーツ少年団	軟式野球用ベース・試合用ユニホーム	新入団員が入団した際に、足りなかったユニフォームを購入させていただきました。また、不足しがちなサイズもバランスよく揃えることができ、来年の40周年に向けて、活気あるチーム作りのきっかけを頂き、本当に感謝いたします。 今回、皆様を支えられて野球ができていう事を改めて教えることができ、活動目標の『物を大事にする』という意識を今まで以上に高められました。団員保護者の負担も軽減されました。
4	子育て広場ほくぼうほたるっこ	親と子供の体操教室～体を動かすことの気持ちよさ&支持運動の大切さを伝える～	6/15、11/6の2回、真庭市のスポーツ推進委員さん達に広場に来ていただき、親と子供の体操教室を開催しました。開催前に参加者の皆さんに「マルセン財団さんの助成を受けることが出来た為、ほたるっこ専用の跳び箱、鉄棒、トンネルを購入することが出来ました。」と発表しました。皆さん拍手で喜んで下さりました。ほたるっこフェイスブックでも、マルセン財団さんから助成を受けたことを発表しています。 まず、スポーツ推進委員さん考案のドレミファ体操をして準備体操。それから小さいフラフープを使って片足飛びや両足飛び、ケンケンパ等をしました。体が温まると跳び箱に乗ることから始めました。跳び箱に慣れてきたら、両手を使って跳び箱に乗ること、跳び箱から決められた場所へ飛ぶことなどをしました。トンネルはいつも大人気です。0歳から4歳の子どもがみんな一緒に遊べ、狭い空間が子ども達には特別なのかもしれません。両手を使って上手にハイハイします。鉄棒は、しっかり両手を握ることから学びました。ぶらさがってみたり、足をかけて豚の丸焼きをしたり、足をかけてまわれる子供さん多いです。お母さんや推進委員さん達の見守る中、自由に鉄棒を楽しむ姿は素敵でした。今回の体操教室では、2回の開催を通して、自分の子どもさんが新たに出来るようになっていっていることが増えていることに、驚かれ、喜ばれる親御さんが多かったことがとても印象的でした。 来年度からも、広場に常に跳び箱、鉄棒、トンネルがあるという好条件を活かして、どんどん活用し、体を動かすことの気持ちよさ、支持運動の大切さをつたえていきたいです。
5	勝央ジュニアバレーボール少年団	小学生バレーボール	昨年度団員数が倍増し、本年度後半には2チーム体制で大会に出場することが新たな目標となりました。助成いただき、念願だった2チーム分のユニフォームを作成することができました。新しいユニフォームで臨んだ、平成29年7月9日（日）の平成29年度美作地区小学生バレーボール前期大会（Bクラスの部）では、準決勝まで勝ち進みました。惜しくも第3位となりましたが、選手と応援の子ども達全員で一丸となって戦う懸命な姿は次の大会へ向けて更なる期待が持てるものとなりました。上記の前期大会は1チームのみの出場でしたが、次の後期大会へは2チームでの出場を果たせるよう、子どもたちは一生懸命練習に励んでいるところです。子ども達のやる気や勝利に向けての向上心をご支援くださりまして、本当にありがとうございました。
6	上南アスリートクラブ	親子（家族）でスポーツを楽しみながら「地域スポーツ活動」の場所作り	助成をいただいたことにより、活動場所の薄暗いところに投光器を設置でき、子供も安心して走れるようになりました。代表者が購入した発電機や投光器、ボランティアの持ち寄りのライトなどを活用して安全に走れる明るさが確保できました。 尚、助成いただいたことにつきましては参加者の前で紹介させていただき、助成により購入した投光器やミニハードルなどのケースには助成のことが分かるようにラベルを貼らせていただきました。また、当クラブのブログ内でも紹介させていただきました。
7	スペシャルオリンピックス日本・岡山	平成29年 第10回スペシャルオリンピックス日本・岡山 地区大会	当団体は、知的障がいのある人たちに、日常的なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を年間通して提供して、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。平成29年度の地区大会では、陸上競技・水泳競技・卓球競技・ボウリング競技・バドミントン競技の5競技を実施しました。参加アスリート238名を含む811名が競技会に参加し、日頃の練習成果発表の場を楽しみました。毎年着実に実力を付けてきていることを実感しました。又、ボランティア・ファミリーの運営への参加体制が出来上がってきて、スムーズな運営が出来るようになってきました。又、ほか地区からのアスリートの参加も大会を盛り上げることとなりました。

8	高野スポーツ少年団	第34回 高野スポーツ少年団ソフトボール交歓大会	今回助成いただいたこの大会には、市長・高野小学校長を来賓として迎え、毎年の津山市のソフトボールの記録に残る第34回を迎えた大会です。津山と岡山方面の計23チームのソフトボールチームの方々に参加いただき、今年も盛大に開催することができました。これも、助成金をいただくことで、例年と変わらずトロフィー・メダルを購入することができ、あまり例のない、3位入賞チームの子どもたちまでメダルを渡すということが出来ました。 来年は第35回を迎える大会となります。津山市のソフトボール交歓大会の歴史に名を残し続けられるよう、今後も地域のチームの子どもたちと奮闘しながら活動して行きたいと思います。
9	中井スポーツ少年団 ソフトボール部	ソフトボール活動	この度の助成で、キャッチャー用防具、団旗、ライン引き、トンボを整備させていただきました。新しい防具を身に付け、子ども達は新たな気持ちで練習に励んでいます。また、低学年が多い中、軽量のコート整備用具を購入できたことで子供たちにも使いやすく、全員でグラウンド整備ができ、改めて練習以前の大切な心を学ぶ機会もできました。そして、今までなかった団旗も新調し、団員一丸となり、はりきって試合に臨んでいます。子どもたちにとって今回の助成は、備品だけでなくそれ以外にも多くの学びがあったと感じております。本当にありがとうございました。

(各団体活動報告から)

2文化活動に対する助成 (応募数 /37 件 採用件数 /11 件)

番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
1	特定非営利活動法人アートファーム	NPO法人アートファーム創立25周年企画 劇作家発掘トレーニング講座・優秀作品公演『海蘭』	「劇作家発掘トレーニング講座」は、NPO法人アートファームが、平成26年度から4ヵ年計画で継続している人材育成事業です。最終年度にあたる平成29年度には、本年度の長編戯曲創作(10人10作品)の中から選ばれた優秀作品を舞台公演として創作・上演しました。創作にあたっては、本トレーニング講座の講師を初年度から務めてきた劇作家・演出家の田辺剛氏を演出に迎え、選抜と公募でキャストینگした俳優陣とともに、岡山での長期滞在による演出指導を継続しながら、現代演劇を通してレベルの高い舞台作品づくりをめざしました。ちなみに、過去3ヵ年の本トレーニング講座では、平成26年度「短い戯曲を書いてみる講座」、27年度「名作戯曲を読み奥義を知る講座」、28年度「長編戯曲を書き下ろす講座」を実施してきました。本トレーニング講座の目的は、地域で本格的な劇作(戯曲創作)を習得する機会がないという現状(地域課題)を打開するために発足しました。こうした現状を打破し、地域から真に創造的な舞台芸術を発信し、地域固有の文化芸術資源を育ててゆくには、その担い手と創作スキルと成果作品を生んでゆくことが必須と考えます。
2	岡山市図画工作教育研究会	第68回造形表現・図画工作・美術教育全国大会(岡山大会)小学校部	「社会に開かれた教育課程」を意識して、城下エリアで授業を行った。岡山市立オリエント美術館の収蔵金の模様、表町商店街の商業デザイン、岡山シンフォニービルの吹き抜けの空間などから感性を働かせて作品づくりをさせている児童の姿から、「社会の中のアート」「児童がアートを通して社会に関わっていくこと」について考えていった。 また、那須太郎氏、岡野英美氏、村上尚徳氏を迎えて「図画工作科への期待―社会との関係性の中で―」のシンポジウムも行った。作成した冊子「ワンダフルアート」の裏表紙裏に助成団体名として記載している。
3	岡山市立オリエント美術館友会の会	オープンワークショップ「オリエントのアトリエ」の実践	オリエントの歴史・文化に関連する簡易な創作体験ができ、実施期間中であれば誰でも無料で参加できる「オリエントのアトリエ」を友の会・美術館共催として企画・実施しました。 ①世界の神話をテーマとした展覧会(特別展「古代オリエント カミとヒトのものがたり」)に関連し、神話の一場面が描かれたデザインの円筒印章づくり、神話に登場する合成獣を考えるワークショップを企画・実施しました。またアトリエで展覧会をもっと楽しく鑑賞するワークシートを作成し配布しました(参加者301人)。江戸から明治にかけて制作された和ガラスが一同に並ぶ展覧会(特別展「和ガラスの美を求めて」)では、和ガラスの制作技法のひとつである「型吹き」の仕組みを追体験してもらうプログラムを企画。シリコン型に蠟を流し入れてキャンドルを作りました(参加者57人) ②ワークショップの企画に携わってくれるボランティアスタッフを募集、「古代オリエント カミとヒトのものがたり」にて実施するプログラム「かみさまかるた大会」を企画・運営しました。かるたという誰でも楽しめるゲーム性のある活動の中に、神話を楽しく学ぶという教育的目的を含ませるプログラムになるよう、企画に携わるボランティアスタッフは、展覧会を読み解き、モチーフとなる神さまや神話を選定、学術的根拠を調査し、学芸員による監修を得て読み札を制作していきました。当日は子どもから大人まで計35名の参加者で実施しました。
4	倉敷シティバレエ	倉敷シティバレエバレエコンサート2017	現存するクラシックバレエ作品としては、最古の作品とされるラ・フィエウ・マル・ガルデより「リーズの恋」、「バレエコンサート」を3歳の子供から社会人まで地元玉島を含むスタジオの生徒たちで演じた。 クラシックバレエは普段なかなか見るチャンスがない。特に男性ダンサーの踊りを身近に見ることは稀である。今回スタジオ設立40周年を機に、学業や日々の仕事と苦戦しながらも忍耐と努力で継続させている。 地元の子供から社会人たちの古典バレエへの挑戦する舞台姿を紹介する。と共に、現在プロバレエ界に於いて、日本を代表し新国立劇場をはじめ日本国内外で多くの舞台出演活躍中の、トップバレエダンサー達をお招きしご披露し、また、今話題のコンテンポラリー作品振付家の第一人者で有りダンサーである矢上恵子先生振付の「pensee」パンセの新作を世界初披露した。 今回は特に主宰者の古里、地元玉島での開催を望み、地元の皆様に地方ではなかなか見る機会の少ないクラシックバレエの全幕や、実際の舞台にてプロダンサーの踊る姿もご覧頂きたい思いで、企画しました。

(各団体活動報告から)

番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
5	国際交流コンサート実行委員会	第2回国際交流コンサート〜トルコの歌姫をお迎えして〜	第1部 日本の歌(指導者による独唱及び重唱と合唱団による合唱)、日本の民謡、平和を願う歌、日本歌曲の中から最も愛唱されている歌を演奏 第2部 トルコの歌(ゲストによる独唱)、トルコ民謡やトルコのポピュラーソング等を演奏 第3部 アジアの歌(ゲストによる独唱・ピアニストによる独奏及び合唱団による合唱)、朝鮮半島・中国・フィリピン・インドネシア・アゼルバイジャン イスラエルの曲を演奏 第4部 ゲストとのトークと歌(ゲストと企画者とのトーク及び演奏)、トークの後再びトルコ民謡やポピュラーソングを独唱と重唱で披露 第5部 交歓演奏(出演者全員による演奏)、トルコ民謡を演奏 第3部、第5部では合唱団は全曲言語演奏(一部日本語を含む) 海外からのプレイヤーを招聘するためには、旅費が経費的に負担が大きく、助成のおかげで安心してお越しいただくことが出来ました。
6	コンシエレ山手	「山手再発見じゃあ!」山手フォトコンテスト	地域の情報発信の方法の一つとして、ホームページを立ち上げ、さまざまな取組の過程や地区の農業や生活、自然の様子等の山手の魅力を町内外に発信している。今年度も「地域のよさ」をテーマにしたフォトコンテストを実施することで、地区内外の人たちによる山手地域のよさの再発見をさらに進め、以下の取組を行いました。①6〜8月の「山手夏祭り」の企画・準備と並行して、フォトコンテストの作品募集を実施するとともに、町や本団体のホームページ等を通じて、取組の経過を情報発信②フォトコンテストの事前審査員として、町長、新聞社、町内の写真団体等を招くことで、それぞれの団体との連携を図りながら取組を進めていきました③「山手夏祭り」の来場者にも、審査・投票をしてもらうことで、地域住民、新規農業従業者、訪問者等を巻き込んだ取組を探っていきました④8月「第2回山手夏祭り」の場を取組の発表の場と捉え、昨年度の夏祭りの反応をもとにしながら、今年度の新たな「フォトコンテスト」の取組についても、ただ展示・発表するのではなく、施設や会場全体を一つの作品として表現できるような形を考えていきました⑤フォトコンテストの結果をホームページ等で発表するとともに、フォトコンテストの作品をもとにしたカレンダーを作成し、出品者等へ配布しました。
7	寒風ボランティア協議会	寒風古窯跡群の顕彰 須恵器の窯の屋根作り	寒風陶芸会館の事業として、文科省の外郭団体、日本芸術文化振興会の助成の下、須恵器の窯を手作りした。材料は助成金で揃え、技術や労力は寒風ボランティア協議会の会員が提供した。寒風の土だけを使い、手作りの窯の完成に会員は喜んだ。しかし、土の窯、大至急屋根を作らなければ。そこで貴団体の助成金で垂木とトタン板、ネジなどを買って材料を揃えた柱を買うお金がなかったのも、昔、農家で掛け稲をしていたころ使っていた横棒を50本以上会員や農家からもらってきた。屋根作りの技術は、会員の中にゼネコンを退職した人がおり設計図、材料見積もり、箸他の水平垂直の器具の使用等、指図し率先して屋根作りに関わった。晴れた日、会員の集まれる日を選び、すべて会員の手作りで屋根を作っていた。柱や梁の木は、材料を見繕い、切ったりつぎ足したり、トタン板もはさみで切り、手で曲げ、屋根の形が見えてくる頃は皆楽しみだった。一番の心配は事故なのでこれはボランティア保険に加入した。助成金やボランティア会員の汗の結晶で無事、屋根は完成しました。
8	せとうちこども合唱団ティンカーベル	幸せを届けるこどもの訪問合唱活動	当子ども合唱団は、市民を明るく元気にする訪問を第一の目的とした「ボランティア訪問合唱団」として発足しました。発足して2年半になりますが、市民病院、公立の高齢者施設、幼児施設等を中心に、訪問、慰問をしてきました。このほか、地域の祭りや敬老会、ふれあいサロンなど地域交流の場に訪問依頼を受け活動しています。訪問には、ボータブルのキーボード、CDラジカセなど必要な機器を市民活動応援補助金で購入し活動してきましたが、訪問先によっては、拡声器が必要であるが施設がなかったりし、活動に不足を長らく感じています。ボータブルのワイヤレスアンプの購入により、より充実した活動が可能になり、依頼先の設備を憂慮せずとも質の安定した訪問合唱を提供することが、可能になりました。
9	童謡 とつくんこの会	とつくんこ 50 号記念誌及び 50 号記念企画表紙詩画展	〈童話絵本 とつくんこ50号発刊〉2017年8月1日に、会員各自の童謡詩に絵や写真を添えてカラー刷りの童謡集発行。巻末には楽譜も掲載し、総ページ数74ページ。会員や各関係者に送付しました。山陽新聞「エリアの本」のコーナーで紹介されたり、詩画展で創刊号からのバックナンバーとともに展示しました。〈とつくんこ50号記念詩画展―野村たかあきと詩人の奏でるうたの世界―〉創刊号の表紙絵はパソコンを使って描いた絵ですが、2号から50号までは、絵本作家野村たかあき氏によって描かれました。野村氏の子どもの遊びを題材にした絵に、会員が童謡詩を添えての50枚のパネル展示です。また「子どものページ」に掲載された子どもの詩画作品6点と、表紙絵の原画5点も同時に展示しました。 のべ423名の来場者があり、感想を直接聞くことができ今後の活動の参考になりました。56枚の詩画パネルと原画が展示された会場は、「心温まる空間であり、圧巻であった」という感想をいただきました。山陽新聞10月20日の「くらし」の欄に、「子どもの心育も詩、画」という見出しで紹介され、記事を読んで駆けつけてくださった方も数名いました。
10	吉井郷土芸能伝承グループ四ツ葉の会 & 仔の葉の会	郷土芸能伝承並びに、地域の文化伝統行事継承活動に使用する「踊り傘」の購入費	吉井地区の「郷土芸能の伝承」と「地域の様々な文化伝統行事」を体験し、次世代へ繋げる活動の推進。「郷土芸能伝承」は、吉井地域を紹介する「吉井平成音頭」をかえ歌で作成し、傘踊り用に振り付け、又「吉井音頭・吉井詩情」等の曲も舞踊に振り付けして、四ツ葉の会・仔の葉の会それぞれイベントに参加協力し活性化を図りました。「地域の文化伝統行事継承」では、地域の協力を得ながら、子供たちが継続して季節の行事や地区のお祭りに参加し、体験することの喜びを味わい、高齢者への感謝と尊敬の心を養えました。
11	吉川八幡宮文化財保存会	吉川地域文化伝承教室	平成29年度の伝承教室は、吉川公民館を会場に6月から11月の第2、第4金曜日の午後7時から8時30分まで開催し、例年どおりに指導者並びに指導補助の皆様にお世話になりました。全国的に伝統行事の休廃止の件数が増加する中で、当伝承教室を続けることの意義は大きいと自負している。しかしながら、当伝承教室では、獅子頭や獅子舞装束等の高価で手に入りにくい特殊な用具を使用しており、使用頻度も高いため、損傷や省化が避けられず、修理代や更新経費も嵩んでいる。また、児童生徒数の減少が加速する中で、地域の文化を継承する児童生徒を育成していくことは困難なことでもある。このような中で、当伝承教室では、横笛の曲を2曲マスターした者に、無償で横笛を与えている。そのような中で平成29年度は、損傷劣化の著しい獅子舞装束の覆の更新と横笛の補充をすることができました。ありがとうございました。

(各団体活動報告から)

第2章 表彰事業関係

① マルセン大賞

平成28年度におけるスポーツ・文化活動において、著しい成績や文化の振興に著しく貢献した個人又は団体を表彰しました。

【マルセン文化大賞】

● 難波 滋 【美術 洋画】

- 平成28年度「改組 新第3回日展」の第2科(洋画)において、最高賞となる文部科学大臣賞に選ばれた。受賞作「逍遙・十六夜」は、新潟県柏崎市の祭りに想を得て、キツネの面を着けた男女を描いたハス池に映る、月の光などは、金箔を使って装飾的に表現。日展審査員からは、「強い主張を感じる秀作。日展の作品としては珍しいタイプで大きな期待が持てる」と評価された。

● 森 陶岳 【美術 陶芸(備前焼)】

- 備前焼作家としてスタートして、強い信念で備前焼の力強さを追い求め、ついには2015年、43年にも及ぶ大窯構想の集大成として、寒風新大窯で備前焼史上最大の大きさと言われる備前五石大甕(ごこくおおがめ)の焼成に成功した。その発表となった岡山シティミュージアムでの「森陶岳大窯展」、そして最初期からこれまでの代表作の大部分を集め、初めてその発表を行った、瀬戸内市立美術館での「森陶岳の全貌展—あくなき挑戦の軌跡—」では全国から多くの陶芸愛好家を集め、大きな感動を与えた。陶岳の歩んできた道は、最初の10年は土器など新しい分野にチャレンジし、その成果は斯界を席卷し、その後の大窯への果敢な取り組み等、その陶芸史はチャレンジの連続であった。

※マルセンスポーツ大賞の該当者なし

② マルセン特別賞

平成28年度におけるスポーツ・文化活動において、特に優秀な成績や文化の振興に貢献した個人又は団体を表彰しました。

【マルセンスポーツ特別賞】

● 佐藤 友祈 【車いす陸上競技 (T52クラス)】

- 障害者スポーツ世界最高峰 リオデジャネイロ・パラリンピック400m、1500mで銀メダルを獲得した。

③ マルセン賞

平成28年度におけるスポーツ・文化活動において、優秀な成績や文化の振興に貢献した個人又は団体を表彰しました。

【マルセンスポーツ賞】

● 岡田 直也 【射撃 ライフル射撃】

- 第31回オリンピック(リオデジャネイロ)競技大会(ライフル射撃競技男子10mエアライフル)出場。第71回国民体育大会希望郷いわて国体(ライフル射撃競技成年男子10mS60M、10mP60M)(2種目優勝)

● 倉敷高等学校陸上競技部 【陸上競技 駅伝】

- 全国高等学校駅伝競走大会に39年連続出場し、平成28年 第67回全国高等学校駅伝競走大会(男子団体)(優勝)

● 第71回国民体育大会 弓道競技成年男子岡山県選抜 【射的 弓道】

- 第71回国民体育大会希望郷いわて国体(弓道競技成年男子遠的) 優勝(2年連続優勝) 同一メンバーでありながら、国民体育大会弓道競技遠的で2年連続優勝。短的を含めて4回の優勝。

● 森定 照広 【陸上競技 指導者】

- 自ら、陸上選手としての経験を活かし、専門誌を熟読し独自の指導方法を研究するとともに他校の指導を仰ぎ、指導者として力をつけた。倉敷中央高校は全国屈指の強豪となり全国チャンピオン4人を輩出した。

【主な輩出選手】

平成24年('12)久世生宝	やり投(ジュニアの部)……………(現)筑波大学
平成25年('13)早坂知華	走幅跳(ジュニアの部)……………(現)筑波大学
平成26年('14)荒島夕理	400mH(ジュニアの部)……………(現)中央大学
平成27年('15)齋藤愛美	100m(ユースの部)……………(現)倉敷中央高校
平成28年('16)齋藤愛美	100m、200m(ジュニアの部)………(現)倉敷中央高校

【マルセン文化賞】

● 吉備神楽社 【無形民俗文化財 伝統芸能】

- 吉備神楽を代々継承している笠原家の言い伝えによれば、江戸時代中期の享保年間頃から地域の荒神社などの祭礼に神楽を奉納していたといわれています。荒神神楽は、集落単位の荒神祭で5年、または6年ごとの式年祭に盛大に行われています。白蓋神事・荒神御崎の舞や神代神楽(岩戸開き・国譲り・大蛇退治)を演じるが、この神楽は幕末に神田大和守ほか神楽社中がほかより移入し、荒神神楽の演目に加えて独自の神楽に仕上げられました。備中神楽とストーリーは変わらないが、太鼓の叩き方は舞い出る命によってすべて異なるなど「吉備神楽」独特の叩き方をします。

吉備神楽社は、約300年に亘り、郷土の先人が継承してきた伝統ある郷土芸能の保存と伝承を目的に活動しています。神社の祭礼時における神楽の奉納や各種催しものへ参加協力しています。また、次代を担う佐方地区の子供達への吉備神楽の伝承を行っています。郷土の先人が残してくれたこの吉備神楽を伝承することで、郷土の歴史や文化を認識し、ふるさとを愛する心、ふるさとの文化を誇りに思える心を育んでいます。将来、ふるさとを担う子供達が、貴重な伝統文化を通じて、郷土に対する関心を深め、文化を継承していくことの大切さに気付いてもらうこと、民俗文化への認識を高めてもらうことを考慮しています。さらには、地域の子供達が将来この文化財の担い手として育っていくように期待しています。

この地域で神楽社を形成し、江戸期から現在まで続いて伝統文化の継承、振興(子ども神楽の指導育成)に寄与していることは、重要である。

● 木村 善明 【音楽 声楽】

- 日本人には珍しいバス・バリトンの声質を持つ歌手であり、楽曲を知的に深く掘り下げた上での抒情あふれる歌唱は、聴衆者賞を受賞した所以である。研究熱心である事は当然のこと、2004年より12年間も“子供達に感動を!”を目的にコンサートを催し、社会貢献にも寄与する活動をしている事は特筆すべきと思う。
平成28年8月に催したこの度のリサイタルは、低い地鳴りがするような魅力的な歌声は圧巻であった。また、聴衆には慣れないドイツ語を丁寧に解説し理解しやすくした気遣いは素晴らしく、聴衆の深い感動を招いた。今現在、岡山出身の歌手では一番手である。





贈呈式

と き：平成29年8月28日(月) 午前11時より

ところ：ホテルグランヴィア岡山「フェニックス」

式次第：1 開 式
2 あいさつ
3 来賓祝辞
4 表彰状及び副賞贈呈
5 受賞者代表あいさつ
6 助成金贈呈
7 助成団体代表あいさつ
8 閉 式



受賞者からのひとこと

マルセン文化大賞 美術 洋画・難波 滋



マルセン文化大賞 受賞にあたり

この度は、「マルセン文化大賞」受賞し、誠に身に余る光栄なことに感謝を申し上げます。マルセンスポーツ・文化振興財団にお世話になりますのも、第3回マルセン文化賞を頂戴して2回目でございます。マルセンスポーツ・文化振興財団関係者の皆様、またご声援を頂きました選考委員の皆様にこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

今のアトリエに移りはや14年が過ぎた。アトリエの設計段階での計画である里山の深い森のようにと決めたものの、建設当時に周りに植えた(どんぐり)も大きくなり沢山の実をつけるようになった。

夜遅くなると天窓には星が輝き水島工業地帯の夜景が美しく輝いている。アトリエの敷地には、山野草、山帽子、古代蓮などが育ちモチーフとなる。設計段階での計画も少しは現実化したものの、里山への憧れは一層に強くなった。

星の見えるアトリエでいつまでも少年のように夢を抱きながら作品制作する姿は、世間からは変な年寄りでしかないのかなと…

近年の作品は、玉島・圓通寺で修行した良寛和尚の漢詩から抜粋した言葉、良寛和尚の生地・新潟出雲崎がテーマとなっている。

作品制作は、早朝から昼間が多く夜空を見る回数は減ったものの、作品の中には月が輝くようになった。

10年前の作品と比較すると、引算しながら足し算の作品になるように制作に励んでいるがなかなか足し算にはならないのが現状である。

自分の作品の前で「涙がでて止まらない感動」そんな作品を制作したい気持ちが強く、未だに涙が流れたことがないのが不思議である。

まだまだ、力不足か精進が足りないのか、反省する反面、夢を追いかけてながら夜空を眺め植物の成長が楽しい毎日である。

今後の進む道は、今の仕事を維持しながらも前に進みたいと感じています。今の自分に何ができるのか、何を求めているのか。

これからも、日本美術界、岡山県美術界の発展に微力ながら努力したいと存じます。今後とも、ご指導とご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

最後に、この度の「マルセン文化大賞」受賞にあたり、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



マルセン文化大賞

美術 陶芸(備前焼)・森 陶岳

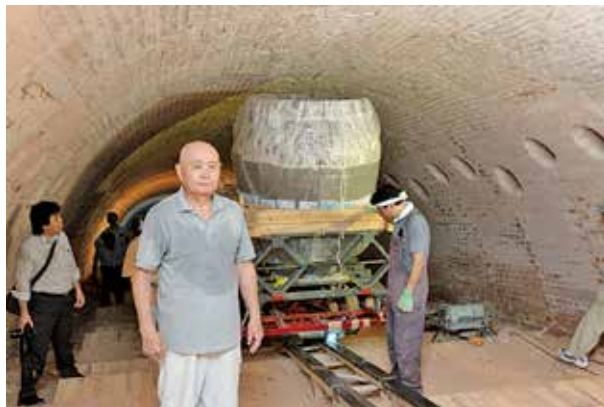
マルセン文化大賞
受賞によせて

昭和37年から私は焼物の仕事に関わって50年になりました。
 明治以降、大正から昭和にかけて個人窯の形で焼物が焼かれ始めていて、私の中で焼物に関する薄っぺらな知識で精一杯の経験を積んできました。
 そのうち先人の残した古い焼物に注目するようになり、その内容の違いに気が付き興奮した思い出があります。
 以来、小窯の全ての作業に疑問を抱くようになり、過去に先人たちが共同の大窯でどのような事を行っていたのだろうか、その疑問を解き明かしたい思いが強くなり、大窯計画を企てその作業を進める事となりました。
 昭和47年の事です。最初の実験的な大窯を相生市西後明の夕山の山麓に8年の間に46mの大窯を築き、50日の窯焚きで結果を確認できました。
 その結果で全ての疑問が解き明かされた事にはならなかったが、一部のものには確かな成果を感じさせるものがあった。そして、その後大窯で何度となく実験を繰り返す事の必要性を痛感した。
 昭和56年牛窓町寒風到大窯の場所を移し、6年間で20m、53mの窯2基が完成した。
 第1回 昭和61年、第2回 平成2年、第3回 平成6年、第4回 平成11年、第5回 平成17年、第6回 平成23年、計6回の大窯を焼くことが出来た。
 毎回課題をもって結果を確認した。それぞれの結果を通じて二つの事が発見できた。
 相生大窯では、意外性と云う事、寒風大窯では神秘性と云う事です。
 神秘性に関しては寒風大窯で毎回大窯のある一カ所から数点の不思議な焼物が表れた事です。その特性は二度と表れない、インパクトの強いエネルギー的なものでした。
 平成23年、窯焚きのノウハウを知る上で全長23mの窯を築き、平成24年2月第1回、平成25年2月第2回、平成26年2月第3回、9月第4回、12月第5回の計5回の窯焚き実験の内、第3回、第4回の結果で確かな窯焚き手法が判明した。なお、第5回では焼かれた土の内部が変化した。そのことは画期的な成果だと思っています。各回それぞれの成果をベースにして、新大窯の窯焚きに向けて準備をまいりました。
 平成27年1月4日、新大窯の火入れ、窯焚きの手順通り(燻し・焙り・中焚き・本焚き・横焚き)を進める。
 平成27年4月20日、107日間の窯焚きが終了した。平成27年7月28日窯出しが始まる。平成27年10月3日窯出し終了する。

窯出し終了後の結果を見て

※特記すべきこと

- 一、窯に火が入り、下の焚口から割木が組まれ始めた頃、これまでの窯焚きの様子と違って木口に早く火が回る、特殊な燃え方と燃え止しになる事なく自然な燃え方に気付いた。
- 一、大窯横焚口の全てから火を吹いた事。大窯全体が還元雰囲気になった事。
- 一、大窯内部の炎の流れが速く、大きな渦巻きが起こり、大窯の内部は目にも止まらぬ炎の流れを感じた。
- 一、大窯内部の四力所から不思議な特徴の作品が表れた(第1室、第2室の一部分、第5室、第6室の三石甕の内部、第15室の五石甕の内部、第30室の一部)
- 一、これまでの大窯にもない、これまで経験した事のない大窯の力を、エネルギーを感じると同時に曖昧模範な事は何一つない、明解な内容が表れた(土の事も、造形に関しても全てのものが赤裸々になった)
- 一、今後、自分自身が何を求めて、何を指して、何を掲げて、何を掲げる事ができるのだろうか、どこまでも極めの無い自問自答に入ることになるだろう。



マルセンスポーツ特別賞

車いす陸上競技 T52クラス・佐藤 友祈

マルセンスポーツ特別賞
受賞にあたって

このたびは、マルセンスポーツ特別賞という大変名誉ある賞を賜り、誠に有り難く光栄なものと存じます。

推薦していただきました皆様に厚くお礼申し上げます。そうそうたる面々の中、2016年のリオデジャネイロパラリンピック大会での400m・1500m銀メダル獲得を評価していただき、嬉しく思います。

今年の7月は、4年前ロンドンパラリンピックが行われた地で世界選手権も行われ競技を始めたころの気持ちを改めて思い返しておりました。リオデジャネイロパラリンピックでは100%の力を出し切るもレイモンドマーティン選手に適わず悔しい思いを味わいました。そこからモチベーションを落とさずに、2017世界選手権ロンドン大会でのリベンジだけを考え「次こそは、誰も前に出さない」と強く思い、いくつもの挫折を乗り越え、苦手とするスタートの強化などトライ&エラーを繰り返し続けてきました。親元を離れて練習環境を変え、大きく道を切り開き、良き指導者や仲間にも恵まれました。会社からも絶大なサポートをしていただくことができています。

次は来年のアジア選手権、2019年には世界選手権、2020東京パラリンピックと1年ごとに大きな大会が控えているので、どこまでどん欲にストイックに自分自身を苛め抜くことができるかが3年後の東京パラリンピックでのメダルを決めることになるかと思うので、この賞を受賞したことによって、またひとつ大きくモチベーションを上げることができました。

マルセンスポーツ特別賞の受賞者として恥じぬよう、競技者として挑戦者としての自覚をしっかりと持ち、これからの競技生活を邁進して参ります。

まずは、来年のアジア選手権でレイモンドマーティン選手の持っている400m・800m・1500mの世界記録を奪いに行きたいと思います。トレーニングなど基礎から見直し、しっかりと積み上げて頑張っていきたいと思っています。

これからは皆様のご期待にお応えできますよう、パラスポーツ・車いす陸上競技を通じて、少しでも岡山県、マルセンスポーツ文化振興財団さま

の発展に貢献できますよう、日々努力精進して参る覚悟でございます。

最後に、表彰式には出席叶わずでしたが、2017世界選手権ロンドン大会の400m・1500mの2種目で獲得した金メダルをたくさんの関係者の方々に御覧いただけてとても嬉しかったです。

今後とも何卒格別なるご支援のほど、よろしく願い申し上げます。

関係各位の皆様方のご健康をお祈りいたします。



©MOTO YOSHIMURA

マルセンススポーツ賞

射的 ライフル射撃・岡田 直也

射撃競技との出会いと
東京五輪に向けて

この度はマルセンススポーツ賞という荣誉ある賞をいただき、大変光栄に思います。

私は、リオデジャネイロ五輪に射撃競技・男子エアライフル代表として初出場しました。2歳半から高校まで競泳をやっており、幼少の頃にはオリンピックに出ると言っていたことを覚えています。しかしそれが射撃競技になるとは思ってもみませんでした。

大学進学後に競泳のできる環境がなくなり新たに始めるスポーツを探しているとき、たまたま射撃部に目が止まり珍しさと大学から始める人も多いことに惹かれて、それまでの自分には想像できない世界に飛び込んでみたことが私と射撃競技との出会いでした。

今思えばその射撃部が強豪でなかったことも幸いしていたのかもしれませんが、部内に上達するためのノウハウが少なかったことで仲間内だけで比べず、外の世界に広い視野を持って情報収集ができ、向上心を持って練習に取り組むことが出来ていたのではないかと思います。

競技との出会いと今まで競技を続けてこられたこと、そして五輪に出場できたことは人や物事とのめぐり合わせが良かったのだとつくづく感じます。

これから東京五輪に向けて国内でも国際大会の開催が多くなりスポーツへの関心が高まっていくと思いますが、射撃競技はまだマイナー競技です。

競技の知名度向上につながるように、そしてそれが競技に対する恩返しになるように活躍していければと考えています。

現在は故郷の岡山を拠点に競技活動を続け、2015年創部の岡山商科大学射撃部の監督を拝命いたしております。

今後も皆様の温かいご支援、ご声援に応えられるよう、世界の頂点を追い求め精進してまいります。ありがとうございました。



マルセンススポーツ賞

陸上競技 駅伝・勝又 雅弘 (倉敷高等学校 陸上競技部監督)

第67回
全国高校駅伝競走大会
優勝にあたって

この度は、マルセンススポーツ賞を頂き関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

また、長年伝統を積み重ね、タスキを繋げてきた選手たちのおかげだと感謝しています。

今回、予選会が終わった時点で、全国高校駅伝大会に出場する学校の予選タイムが1位となったため、優勝候補として注目されプレッシャーを感じることもなりましたが、ここまで来たら今までやってきたことを信じ、平常心で臨むことに集中しました。

1区の畝は、昨年の大会でスタート直後に転倒して顔面を打ち、血だらけになりながらも必死で2区にタスキを繋いでくれました。その根性を買って今年も、自信を持って1区に指名しました。畝は、先頭集団の中でよく粘り、トップと11秒差の5位で2区にタスキを繋ぎました。若林は、1人抜いて4位で3区に繋ぎ、ムアウラは2位まで順位を上げて4区に繋ぎました。4区の前田は、1年生の時に1区を走り区間56位と大ブレーキを起こしましたが、その後の成長は目覚ましく精神的にも強くなりました。優勝するためには4区がポイントと踏んでいましたので、私は迷わず前田を4区に起用しました。

期待通り前田は意地を見せ、2位に1分04秒という大きな貯金を作って、優勝をたぐり寄せてくれました。5区は1区を走った双子の兄で、ここでも堅実な走りで6区の北野に繋ぎました。北野は直前に発生した足の故障が癒えておらず、本調子ではありませんでしたが、区間賞という圧巻の走りアンカー名合に優勝の夢を託しました。57秒差をもらった名合は、落ち着いた走り逃げ切り、タスキを優勝のゴールテープまで運んでくれました。今回、大会が近づくにつれて、故障者が出るなどさまざまなアクシデントがありましたが、結果的に優勝できたことは、過去の失敗をバネにし

た3年生のリーダーシップと、優勝するために部員一人ひとりがチームのために何をすべきかをしっかり考えて行動してくれたことが大きな要因だったと思います。部員25人が一丸となり、100%以上の力を出し切った「総合力」で戦う倉敷高校らしい初優勝ができました。



マルセンススポーツ賞

射的 弓道・高杉 嘉治(第71回国民体育大会弓道競技岡山県選抜監督)



心身弓の整った最強チーム

2017年のマルセンススポーツ賞という栄誉ある賞を受賞させていただき誠に有り難うございます。特に岡山県弓道国体選抜チームとしての受賞は格別の意義深いものと思います。

吉田章朗、古谷勉、西村英信の3人チームですが素晴らしいメンバーが揃いました。

第67回国体から結成して以来、第71回国体まで連続して優勝又は準優勝する最高の成績を記録しています。

吉田君は第62回国体(岡山国体)での総合優勝を成し遂げたメンバーの1人です。このチームでは最年少ですが気迫のこもった射をしています。

古谷君は、最年長で落ち着き淡々とした中にもかかわらず強い闘志のある射をしています。

西村君は、十数年前から何度も国体出場・活躍しているベテラン選手でキャプテンとしてチームをまとめてくれています。

そして、このチームの強いところは3人がトップクラスの実力者であり、互いにライバルのごとく競い合っていることだと思います。

この受賞を契機にますます活躍し皆さま方の期待に応えるように頑張ります。



マルセンススポーツ賞

陸上競技 指導者・森定 照広(岡山県立倉敷中央高等学校 陸上競技部顧問)



『夢叶う』

2016年夏、岡山インターハイ。シティライトスタジアムに倉敷中央高校の輪が広がりました。3日目4×100mR決勝、部員はもちろん、学校関係者、多くのOGたちの応援を受けて思い切り走りました。とても幸せなひと時でした。夢を追いかけてみんなで練習してきた21年間、ついにリレーで一番になりました。メインポールに倉敷中央高校の部旗が揚げられました。たなびく中央ブルーは、歴代の仲間たちが待ち望んだものでした。

私は、1996年から本校の指導に携わっています。『夢叶う』という合言葉を胸に、生徒が少しずつ階段を上ってきました。実績を持たない生徒の集まりである私たちは、力を合わせてリレーを戦うことで、次のステージを目指してきました。バトンに想いを込め、夢を繋いでできました。2001年に初めて全国大会を経験することができました。リレーは2003年からです。毎年リレーでインターハイに出場することで、多くの選手が大舞台を経験することができました。全国の高い壁に負け続けていましたが、そんな中から何かが動き出していたのだと思います。

2009年度(2010年2月)に高橋緋奈が日本ジュニア室内60mHで本校初の日本一となり、知らず知らずのうちにチーム内に『夢は日本一』という言葉が聞こえるようになっていました。その後10年・11年と高橋が3連覇、12年やり投の久世、13年走幅跳の早坂、14年400mHの荒島、15年100mの齋藤と繋がり、そして地元でインターハイを迎えることとなりました。齋藤が100m・200mを制覇し、末石・澤谷・野口・齋藤と繋いだバトンが一番にゴールに帰って来ました。

最後になりましたが、一途に陸上競技に向き合う生徒たちに恵まれ、彼女たちの活躍により、マルセンススポーツ賞を頂きましたことに深く感謝し、心よりお礼申し上げます。2020年には東京にオリンピックがやって来ます。岡山のアスリートが一人でも多く夢の舞台で活躍できるよう、私もこの賞を励みに、これからも高校生の夢に寄り添い精進して行きたいと思います。



マルセン文化賞

無形民俗文化財 伝統芸能・笠原 一実(吉備神楽社)



文化賞を受賞して

この度はマルセン文化賞を頂き、誠に有難うございます。

吉備神楽は、古事記神代の巻に書かれている物語をテーマに構成されており、演舞の筋書きは、・榊の舞・猿田彦命舞・荒神御前舞・天の磐戸開き・出雲国譲り・八咫の大蛇退治など備中神楽と変わりはありませんが、舞い方と太鼓の打ち方に独特のがあります。享保年間に始まり、約300年途中で盛衰は有りましたが、先人が継承して参りました伝来の面・衣装・小道具を用い、伝統ある郷土芸能、吉備神楽の保存と伝承を目的として、神社の祭礼時などでの神楽の奉納や各種催しへの参加を行っております。

吉備神楽は、昭和29年には浅口郡金光町の無形文化財の指定を受けたのを始めとして、平成23年には浅口市文化財の指定、平成28年には無形民俗文化財として岡山県の文化財保護協会賞を受賞、また、今回のマルセン文化賞受賞など、多くの栄誉に与っておりますが、これは偏に浅口市教育委員会の多大なご支援の賜物と感謝しております。

吉備神楽の今後の課題としては、他の民俗芸能と同様、保存及び伝承です。社中の技量の向上を目指し、練習を積み重ねていくことに加え、新しいメンバーの勧誘に力を入れたいと考えております。また、伝承をより確実なものとするため、次世代を担う子供たちへの伝承活動に尽力しているところです。郷土の歴史や文化を身に着け、故郷を大切にすることを育み、将来の文化財の担い手となってくれるよう期待しております。

最後になりましたが、この度のマルセン文化賞の受賞にあたり、マルセンスポーツ・文化振興財団をはじめとして、ご尽力いただいた方々に、厚く御礼申し上げます。有難うございました。



マルセン文化賞

音楽 声楽・木村 善明



夢の職業オペラ歌手

本物のオペラ歌手になって4年目。34歳の時でした。それまで7年間の留学期間を経て、やっと夢の職業、オペラ歌手になった瞬間でした。それは夢と現実を知る瞬間でもあったのです。

ドイツ、フランス、ベルギーと転々として、新しい場所に住むことにそれほど違和感を感じてなかった私が、さすがに想像もつかない新しい劇場生活に不安を抱えながら、ビーレフェルト(ドイツ)の街に降り立ったのを今でも鮮明に覚えています。その大変さは、契約時の話し合いの時から始まりました。年間60公演のオペラ出演、その他コンサートなど計70公演以上に出演しなければいけないこと、ソリスト契約は年間契約、要は悪ければすぐクビ。自分の体温が下がって行くのをあれほど感じたことはありませんでした。毎日の稽古は午前、夜間と続き、そのうち1つのオペラ公演が初日を迎え、また新しいオペラの稽古に入り、とその繰り返し。公演時、ダブルキャストの時は常にスタンバイをしないとイケなかったり、忙しい時は稽古と別に、週に3回違うオペラ公演が続いたり、頭の中はパニック状態。ドイツ語、イタリア語、フランス語、英語のオペラが飛び交い、それをソリストたちはこなしていかなければいけないという現実がそこにありました。まさにアスリートの世界であり、今まで経験したことのない世界でした。しかし、容赦なく来る本番は、僕を違う世界へと連れて行ってくれたのです。本番でしか学べないことが沢山あったのです。どんなベテラン歌手であっても、常に緊張をし、舞台にかけける思いは並々ならぬものです。そして常に一定レベル以上を保って演奏をしていくこと、精神的にもコントロールする凄さなどを間近で感じられたことは、今の私の財産となっています。

最後になりましたが、このような素晴らしい賞を与えてくださり、これからも本場ヨーロッパで自分の力を試して行きたいと、また強く思いました。そして、人間力を磨いて、一生歌い続けて生きます。



ホットコーナー

星野 仙一さん

18年ぶりとなる阪神のリーグ優勝を決め、
胴上げされる星野仙一監督
＝2003年9月、甲子園



最後まで野球に情熱



倉敷商高時代



ドラフト1位で中日入団を決め、母校の倉敷商高を訪れる＝1969年1月



中日のエースとして気迫を前面に出す投球で「燃える男」と呼ばれた
＝1979年



野球教室で子どもたちを指導
＝1989年、倉敷市

年のリーグ優勝につなげた。

その半面、選手やコーチの家族、球団スタッフらに気を配った。選手が初勝利を挙げた時にはプレゼントを渡し、誕生日は選手本人ではなく夫人に花束を贈り「あなたが選手を支えてくれているから私が監督として指揮を執れる。ありがとう」と感謝の言葉を添えた。豪快にして繊細で、チームが戦うための準備を怠らなかった。その才能は球界でも卓越しており、監督として歴代10位の1181勝を積み上げた。



最後の最後まで野球に情熱を燃やし続けた星野さん。サインを求められると、色紙にはいつも「夢」と書いた。昨年11月、野球殿堂入りを祝う古里の人を前に語った言葉が今も耳に残っている。

「強い者を引きずり下ろしてこそ男。負けたくないという強い気持ちがあったから、運も近づいてくれた」

(本文、写真ともに山陽新聞社提供)



日本代表監督として臨んだ北京五輪のキューバ戦で、判定を巡り激しく抗議＝2008年8月



2013年11月、日本一に輝き、胴上げされる楽天・星野仙一監督＝Kスタ宮城

2018年の年明け早々、岡山球界に衝撃が走った。プロ野球の中日でエースとして活躍し、監督では楽天を初の日本一に導くなど3球団で計4度のリーグ優勝を飾った星野仙一さん(70)＝倉敷市出身＝の急逝である。

昨年の野球殿堂入りからわずか1年。亡くなる約2カ月前には地元・岡山で野球殿堂入り祝賀会が開かれ、本人も元気な姿を見せていただけに、驚きを禁じ得なかった。

楽天によると、16年7月に急性膵炎(すいえん)を発症し、その検査で膵臓がんが判明。本人の意思で病状などの発表は控え、昨年末になって病状が悪化した。楽天副会長として、息を引き取る直前まで「コーチ会議に出られるかな」と話していたという。



星野さんは倉敷商高から明治大を経て、1969年にドラフト1位で中日に投手として入団。闘志をむき出しに黄金時代の巨人に立ち向かい、「燃える男」の異名を取った。

真っ先に思い浮かぶのは、打者に向かってほえながらマウンドから

降りてくる姿だ。懐をえぐり、最後は外角低めの直球で仕留めるスタイル。相手が長嶋茂雄、王貞治のONだろうが、遠慮しなかった。中日一筋でプレーした14年間で146勝121敗34セーブ。巨人からは35勝を挙げた。巨人の10連覇を阻止してリーグ優勝した74年には沢村賞を獲得。「背番号20」が躍動する姿に多くのファンが酔った。

こんなエピソードも残っている。

中日の投手コーチだった稲尾和久さんが限界とみて、交代を告げにマウンドへ行くと、星野さんはグラブをたたきつけんばかりにして悔しがった。稲尾さんがコーチの面目にかかわる態度として詰め寄ると、「誰が見ても限界だけど、私は名古屋のスターなんです。ファンにあっさりマウンドを降りるところは見せられんです」と答えたという。



「闘将」と呼ばれた監督時代も打倒巨人を意識し続けた。中日で2度、阪神で1度、リーグを制しながら日本一には届かなかったが、楽天を率いて3年目の2013年に球団初のリーグ優勝、日本シリーズでも巨人を第7戦の末に破り、悲願の日本一をつかみ取る。チームの活躍は、東日本大震災で被害に遭った東北の人々に勇気を与えた。

指導者として巧みに使い分けたのが「情と理論、ある程度の恐怖感」だ。勝つためには非情な決断も下した。阪神の監督時代、1年目の02年に失速して4位に終わると、オフにベテランを大量に自由契約にして「血の入れ替え」を敢行。大型補強で翌



中日を率いて2度目のリーグ優勝を飾り、ファンの声援に応える＝1999年9月、神宮



野球殿堂入りの祝賀会であいさつする星野仙一さん＝2017年11月12日、岡山市

岡山市在住の将棋棋士・菅井 竜也 王位

平成生まれ初のタイトルホルダー 「僕はまだまだ強くなれる」

2017年の将棋界はかつてない盛り上がりを見せた。最年少棋士・藤井聡太六段(15)の公式戦29連勝の新記録、第一人者・羽生善治棋聖(47)の「永世七冠達成」はもちろんだが、岡山の将棋ファンを最もわかせた棋士といえば、菅井竜也王位(25)=岡山市=で間違いないだろう。7、8月に指された公式8大タイトルの一つ「第58期王位戦」7番勝負で羽生三冠(当時)を破り、初のタイトルを獲得した。岡山県出身棋士としては34年ぶり、平成生まれでは初となる快挙で、将棋界の歴史に名を刻んだ。

◇

棋士8年目にして初のタイトル挑戦。大方の見立ては、羽生三冠の圧倒的優位だった。

タイトル戦は、一般棋戦より持ち時間が長い。加えて王位戦は2日制で、初日の夕方に、次の日に指す手を紙に書いて封筒に入れる「封じ手」を行う。衣装もふだんはスーツだが、タイトル戦は慣例で和

服を着用する。対局する場所も、ホテルや料亭で、1局ごとに別の場所へ移動。すべてが初めての経験だけに、菅井氏も挑戦前は「正直なところ、不安がある」と漏らしていた。

だが、いざ対局が始まると、堂々たる指し回しを見せた。第1局は、後援会「竜棋会」から贈られた濃紺の和服で登場。この大一番で、オリジナルの新戦術を絶対王者にぶつけ、終盤まで紙一重の攻防が続いた激戦を制する。先手番となった第2局も振り飛車の新戦術を披露。定跡に頼らない「力勝負」を真っ向から挑み、2連勝を飾る。

第3局は落とし、タイトルに王手をかけるか、タイに戻されるかの“天王山”となった第4局は序盤、一度中飛車にしてから、居飛車に戻すという大胆な作戦で臨む。プロはもちろん、アマチュアでも考えられない「二手損」で周りを驚かせたが、うまく駒をさばいて快勝する。竜棋会から数十人の応援団が駆けつけた徳島市での第5局は、歌や芝居で有名な「王将」のモデルとして知られる名棋士・阪田三吉の名を冠した「阪田流」の発展形で臨み、中盤から駒を盤面全体に躍動させて圧倒。8月30日午後3時8分。羽生三冠が「負けました」と投了を告げ、待望の瞬間を迎えた。

全5局で「菅井流」の独創的な駒組みで王者を翻弄。結果もさることながら、内容でもファンを魅了した。経験の差を研究で埋める、見事な勝ちっぷりだった。

◇

将棋を始めたのは、まだ幼稚園児だった5歳の時、父に手ほどきを受け、「年齢や体力に関係なく、誰とでも対等に戦える」と魅力にはまった。小学4年の6月、初めて大会に出場した「JT将棋岡山こども大会」の高学年の部でいきなり準優勝。すい星の如く現れた才能を見逃さなかった岡山県内のアマ強豪の勧めで、倉敷市大山名人記念館の教室に通い始めた。

期待以上に実力を伸ばし、全国小学生名人戦で準優勝を飾った小学6年の夏、プロの登竜門・奨励会に入会する。途中、「あと1勝」に泣いて昇段を逃す挫折も味わいながらも17歳で四段となり、プロデビューを果たす。

より高いレベルの中でも快進撃。1年目に32勝10敗の好成績を挙げ、2年目には一般棋戦で初優勝し、将棋大賞新人賞も受賞する。3年目以降も成績を落とすことなく、通算成績(18年2月末現在)は262勝100敗。100勝以上を挙げている棋士の中ではトップの勝率を誇る。残すはタイトルだけ。ファン



初タイトルを決めた後、応援に駆けつけていた後援会メンバーと記念撮影。多くの人の支えに菅井王位はいつも感謝している=2017年8月30日、徳島市

の期待が高まる中で、見事にチャンスをものにした。

◇

研究熱心さ、自己管理、いつも温かく接してくれる地元ファン…。菅井氏の強さを支えているものは数多くあるが、最大の要因は、幼い頃の「将棋が大好き」という気持ちを失っていないことだろう。

王位戦7番勝負で負けた第3局。対局後、30分ほどして着替えを済ませた菅井氏が、ふらっと記者や検討中の棋士らの控室に現れた。感想戦の続きをするのかと思いきや、記録係の奨励会員や元奨励会員の記者らと将棋を指し始めた。夕食会をさみ、この日は10局以上も指したという。2日間、極限まで頭を振り絞った直後に喜々として盤の前に座る菅井氏。このエピソードが、菅井氏の将棋に対する姿勢を物語っている。

個人差はあるが、将棋界では「手を読むスピードと経験がかみ合う、20代後半から30歳くらいまでが最初の棋力のピークを迎える」と言われる。岡山、倉敷市で昨秋行われた祝賀会で「僕はまだまだ強くなれる」と力強く語った菅井王位。今夏の初の防衛戦はもちろん、他の棋戦も含め、目が離せない存在だ。(本文、写真ともに山陽新聞社提供)



羽生三冠との激闘を制した後、感想戦を行う菅井王位=2017年8月30日、徳島市



王位就任式で贈られた就任状を手に笑顔を見せる菅井王位=2017年11月9日、東京



ファンら約190人が出席した地元祝賀会で花束を受け取る菅井王位=2017年11月13日、岡山市

第3章 イベントの開催(主催・共催)

岡山県のスポーツ・文化の振興発展を支援するため、次の事業を実施しております。

1 スポーツ

● マルセンスポーツ教室「岡山シーガルズのバレーボール教室」(小学校対象)

- ・日 時：平成29年8月6日(日) 10時～12時30分
- ・会 場：万成病院体育館(Mホール)
- ・後 援：岡山市
- ・参加者：26名(募集人数30名)
- ・講 師：川畑愛希選手、櫛崎慈恵選手、神田千絵コーチ(岡山シーガルズ)



2 文 化

● (公社)岡山県文化連盟「おかやま文化芸術アソシエイツ」(旧「文化のつどい」)文化芸術交流実験室

- ・日 時：平成30年1月8日(月) 11時～16時
- ・会 場：奈義町伝統文化等研修施設
- ・参加者：35名
- ・内 容：世界的な劇作家・演出家である平田オリザ氏がユニークな手法による地域づくりについてのトークセッションと町のアート・デザイン・ディレクターとして活躍している菅原直樹氏が参加者に認知症の入居者と介護士の役を演技させ福祉についてのワークショップを実施した。



● マルセン文化教室「井手康人の日本画教室」

- ◎ 社会人対象：23名参加(応募23名)
- ・日 時：平成29年6月11日(日) 10時～15時
- ・作品展示：倉敷市立美術館(第72回「春の院展」倉敷会場)
平成29年6月28日(水)～平成29年7月9日(日)
- ◎ 中高校生対象：27名参加(応募 中学2校3名 高校3校24名)
- ・日 時：平成29年12月24日(日) 10時～15時
- ・作品展示：天満屋岡山店葦川会館(再興第102回院展岡山会場)
平成30年1月2日(火)～平成30年1月14日(日)
- ・beyond 2020 認証事業
- ◎ 会 場：岡山県生涯学習センター
- ◎ 後 援：岡山県教育委員会、岡山市教育委員会日本美術院「地域連携教育プログラム」



● マルセン文化教室 「臼井洋輔氏とともに閑谷学校と津田永忠の事跡を巡る研修会」

- ・日 時：平成29年10月28日(土) 9時～16時
- ・募集定員：30名(応募者数38名)
- ・巡回場所：和意谷池田家墓所、鏡の州、閑谷学校、田原井堰、石の懸樋 等
貸切バスによる移動(岡山駅運動公園口発着)
- ・講 師：臼井洋輔氏(備前市 備前焼ミュージアム館長)



第4章 広報啓発育成事業

競技スポーツ及び芸術性の高い音楽・演劇等の観賞の機会の提供を通じて、スポーツ・文化の振興発展に努めております。

1 啓発育成事業

① チケットプレゼント

① スポーツ関係

◎ 山陽新聞レディースカップ(寄附)

- ・日 時：平成29年9月15日(金)～17日(日)
- ・会 場：玉野市 東児が丘マリンヒルズゴルフクラブ
- ・招待者：200組(400名)

② 文化関係

◎ 第72回春の院展倉敷展

- ・期 日：平成29年6月28日(水)～7月9日(日)
- ・会 場：倉敷市立美術館
- ・招待者：30名

◎ 川島基ピアノリサイタル

- ・期 日：平成29年9月9日(土)
- ・会 場：岡山県立美術館ホール
- ・招待者：10名

◎ 再興第102回院展岡山展

- ・期 日：平成30年1月2日(火)～14日(日)
- ・会 場：天満屋岡山店葦川会館
- ・招待者：150名

◎ 備中温羅太鼓

- ・期 日：平成30年2月18日(日)
- ・会 場：総社市民会館
- ・招待者：10名

◎ 第32回倉敷音楽祭

「倉敷のヴィルトゥオーゾ Vol.3」～倉敷ゆかりの若手プレーヤーによる室内楽コンサート～

- ・期 日：平成30年3月18日(日)
- ・会 場：倉敷市芸文館
- ・招待者：30名



① ホームページ・Facebookを通じての広報

② 広報誌「マルセン」14号の発刊

③ 活動助成団体によるラジオ番組出演(活動状況報告)

◎ RSKラジオ「おかやま元気応援団! 2017」

「表町LIVE あもーれ! マッターリノ」の中、13時～16時30分の中で10分程度放送
パーソナリティ メイン：奥富亮子 サブ：廣瀬麗奈(月) 坂本大輔(火) 多賀公人(水)

- ・期 間：平成29年10月16日(月)～11月8日(水)
- ・出演団体：スポーツ関係9団体 文化関係11団体

2 協賛・後援事業

① スポーツ関係

◎ 第27回全日本古希軟式野球大会岡山大会

- ・主 催：岡山県選抜軟式野球連盟
- ・期 日：平成29年10月28日(土)～10月31日(火)
- ・会 場：倉敷市運動公園他7会場
- ・協賛額：100千円

第4章 広報啓発育成事業

◎第36回山陽女子ロードレース大会

- 主 催：(株)山陽新聞社 他 主管：岡山陸上競技協会
- 期 日：平成29年12月23日(土) 会 場：岡山市内(岡山県陸上競技場出発着)
- 協賛額：1,080千円



イ 文化関係

◎日本工芸会中国支部創立60周年記念図録

- 主 催：公益社団法人 日本工芸会中国支部
- 期 日：平成29年5月24日(水)～6月25日(日)
- 会 場：天満屋岡山店葦川会館、岡山県立美術館 協賛額：300千円

◎備前細工物「きのう・きょう・あした」

- 主 催：備前細工物展実行委員会 期 日：平成29年6月29日(木)～9月3日(日)
- 会 場：備前ミュージアム 協賛額：300千円

◎岡山女声合唱団「華」日本のうた・こころのうた 20周年のあゆみ記念コンサート

- 主 催：岡山女声合唱団「華」
- 期 日：平成29年10月1日(日) 会 場：岡山シンフォニーホール
- 入場者数：1,304名 (出演者数：116名 スタッフ：35名)
- 協賛額：150千円



◎岡山市民ミュージカル「オランダおイネ あじさい物語」

- 主 催：山陽放送株式会社
- 期 日：平成29年11月19日(日)
- 会 場：岡山シンフォニーホール 協賛額：100千円



◎第9回全国高校生現代アートビエンナーレー絵画・イラストー

- 主 催：倉敷芸術科学大学
- 期 日：平成29年12月16日(土)～12月24日(日)
- 会 場：倉敷市立美術館 協賛額：100千円



大賞・大原美術館賞
W受賞作品
タイトル：anchovy
技法：スクラッチ
県立福山誠之館高校
増川祐伎

◎文化芸術交流実験室

- 主 催：公益社団法人岡山県文化連盟
- 期 日：平成30年1月8日(月)
- 会 場：奈義町伝統文化等研修施設
- 協賛額：100千円

【名義後援】

◎倉魂!「高校生コミック・イラストコンクール2017」

- 主 催：倉敷芸術科学大学
- 期 日：平成29年6月1日(木)～平成30年3月31日(土) 会 場：倉敷芸術科学大学及び関係施設

◎伊藤宏恵 柁木和敬 ジョイントリサイタル マーラー作曲「大地の歌」

- 主 催：イタリア音楽研究会 共 催：NPO法人バンクオブアーツ岡山
- 期 日：平成29年8月26日(土) 19時～21時 会 場：ルネスホール

◎第2回おかやまスポーツフェスティバル

- 主 催：公益財団法人岡山県体育協会
- 期 日：平成30年3月4日(日) 会 場：岡山県総合グラウンド、児島マリナプール

(II)財団の活動

法人管理

1 会議等

●評議員会

(1)臨時第1回評議員会 平成29年6月12日(月)

- ①平成29年度収支補正予算(案)
- ②平成29年度マルセンスポーツ・文化賞受賞者について
- ③平成29年度協賛・後援事業について 等

(2)定時第1回評議員会(書面) 平成29年6月27日(火)

- ①平成28年度事業報告及び収支計算報告について
- ②評議員候補の重任について
- ③理事候補の重任について
- ④監事候補の重任について

(3)臨時第2回評議員会(書面) 平成29年7月18日(火)

- ①評議員候補者の選任について

(4)臨時第3回評議員会 平成30年3月23日(金)

- ①平成29年度収支補正予算(案)について
- ②平成30年度事業計画(案)について
- ③平成30年度収支予算(案)について
- ④辞任に伴う後任評議員の選任について
- ⑤平成30年度活動助成団体について

(決議事項と主な報告事項を記載している)

●理事会

(1)臨時第1回理事会(書面) 平成29年5月10日(水)

- ①臨時第1回評議員会の開催について

(2)定時第1回理事会 平成29年6月12日(月)

- ①平成28年度事業報告及び収支計算報告について
- ②平成29年度マルセンスポーツ・文化賞受賞者及び平成29年度協賛・後援事業について
- ③書面による定時第1回評議員会の開催について

(3)臨時第2回理事会 平成29年7月7日(金)

- ①理事長の選定について
- ②常務理事の選定について
- ③書面による臨時第2回評議員会の開催について

(4)臨時第3回理事会(書面) 平成29年12月4日(月)

- ①協賛事業について
- ②名義後援について

(5)臨時第4回理事会(書面) 平成30年2月15日(木)

- ①臨時第3回評議員会の開催について

(6)定時第2回理事会 平成30年3月23日(金)

- ①財務関係諸表書式の変更について
- ②平成29年度収支補正予算(案)について
- ③平成30年度事業計画(案)について
- ④平成30年度収支予算(案)について
- ⑤平成30年度スポーツ・文化活動事業助成事業等について
- ⑥顧問の選任(重任)について
- ⑦就業規則の改正について

- ⑧育児・介護休暇等に関する規程の制定について
- ⑨平成29年度予算執行状況について
- ⑩辞任に伴う後任評議員の推薦について
- ⑪理事長等の自己の職務執行状況について

(決議事項と主な報告事項を記載している)

●監査 平成29年5月23日(火)

●選考委員会

(1)第1回委員会 平成29年5月31日(水)

①第14回マルセン賞候補者選考、協賛事業5件、名義後援2件

(2)第2回委員会(書面) 平成29年11月17日(金)

①岡山県文化連盟主催「文化芸術交流実験室」(協賛)

②岡山県体育協会主催「おかやまスポーツフェスティバル」(名義後援)

(3)第3回委員会 平成30年2月22日(木)

①平成30年度活動助成事業及び協賛事業

お知らせ

マルセンスポーツ・文化活動助成事業について

当財団では、スポーツ活動及び文化活動にかかる助成事業を毎年実施しております。
詳細(募集要項)については、「財団ホームページ」及び11月初旬、生涯学習施設に配布する「募集のお知らせ」にてご確認ください。

記

1「助成事業申請書」の入手／財団ホームページから関係申請書をダウンロードしてください。

2 募集期間／毎年11月15日から翌年1月20日(期日が土日曜日の場合は、翌月曜日)

3 助成額／10万円(限度額)

4 助成金交付決定の時期／3月下旬

5 審査基準

- ・活動の目的及び内容が当財団の助成目的に沿ったものであること。
- ・活動内容が具体的であるもの。
- ・活動の参加に制限がなく、誰でも参加できるものであること。
- ・概ね1年以上の活動実績があること。
- ・助成金の使途が適切であり、助成の緊要度が認められること。
- ・岡山県内で行われる活動であり、岡山県内に所在する団体・居住する個人が実施すること。

6 留意事項

- ・助成金は、自己又は構成員へ支出する報酬・旅費等及び組織の維持費には充当できません。
- ・反社会的勢力と関係のある団体に該当する場合は、対象となりません。
- ・営利を目的とする活動は、対象となりません。
- ・その他、助成規程・助成事業実施基準をご確認ください。

7 申請書への添付書類(全て写しで可)

- ・組織の設置規程(規約等)
- ・昨年度の決算書、パンフレット、当該年度の事業計画(申請書に記載)
- ・助成審査前確認シート(様式2号)

8 その他

申請書記載内容については、記載例(申請書裏頁)を参照のうえ、作成してください。事業計画欄に団体設置の目的、事業の目標、苦慮している点、成果目標等を600字内に簡潔に記載してください。

(様式1号) 平成31年度
活動区分(スポーツ・文化の選択)

助成事業申請書

公益財団法人 マルセンスポーツ・文化振興財団 殿

受付日	
受付番号	

貴財団の助成を受けるため下記の通り申請いたします。なお、この書類に記載の氏名・住所等の個人情報について、選考委員会等への提供に加え財団役員会又は関係行政機関に開示することに同意します。また、助成決定の際は、受給者の名称(氏名)・活動内容等について広報誌等にて公表される場合があることに同意すると共に、助成金の交付条件である①助成事業に採用された旨の公表、及び②当該活動終了後速やかに活動報告書を提出することのいずれかでも怠った場合、助成金交付の取消・返金を求められることに同意します。

団体名	(フリガナ)		構成人数	所在地 (市区町村のみ)	役職名 代表者名	(フリガナ)		
住所 (連絡先)	〒 氏名もしくは、団体名				担当者	☐ 同上 * 該当する場合はレをつけてください。		
	(昼間に 連絡可 なもの)	Tel	-	-	メールアドレス	@		
		Fax	-	-	携帯	-	- ※担当者のもををご記入ください。	
申請区分	大分類 (クリックしてください。)		実施時期			実施場所		
	小分類 (クリックしてください。)							
活動名								
助成を受けて の事業計画 (600字以内)								
助成を受けた際の財団名公表の方法								
過去実績								
予定事業 収支計画	収入の部	項目	金額 (円)	支出の部	項目	助成金 充当率	金額 (円)	内容
		助成希望金額 (限度額10万円)						
収入合計		0	支出合計		0			
備考	※年間個人負担額 円(一人当たり) (※ 0) 財団助成金充当額合計 ◎助成金を充当する項目に ※ が付されていません。							
他の助成等を受けていますか?		☐ はい ☐ いいえ		千円				
他の助成等の申請予定はありますか?		☐ はい ☐ いいえ (申請先団体)						
過去に当財団の助成を受けましたか?		☐ はい ☐ いいえ		平成	年度	千円		

事業の記録

●第13回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

合 計	22件	2,089,006円
累 計	295件	33,364,969円

合 計	21件	2,067,650円
累 計	273件	31,275,963円

合 計	26件	2,497,000円
累 計	252件	29,208,313円

合 計	30件	3,000,000円
累 計	226件	26,711,313円

美作国建国1300年記念事業実行委員会 30万円

合 計	25件	2,670,000円
累 計	196件	23,711,313円

合 計	21件	2,011,628円
累 計	171件	21,041,313円

第25回国民文化祭おかやま2010 100万円

合 計	22件	2,977,020円
累 計	150件	19,029,685円

第25回国民文化祭おかやま2010 100万円

合 計	25件	3,258,115円
累 計	128件	16,052,665円

県立総社南高等学校ダンス部保護者会 100万円

合 計	21件	2,996,410円
累 計	103件	12,794,550円

合 計	21件	1,994,500円
累 計	82件	9,798,140円

記載例

(切り取り線)

- ・「別紙のとおり」等省略せず、ご記入ください。 (書ききれない場合のみ別紙へ記入し、添付)

事業の記録

●第3回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
18.7.21	スポーツ	100万円	36件	10件	970,000円	合 計 20件 1,962,000円 累 計 61件 7,803,640円
	文 化	100万円	27件	10件	992,000円	

●第2回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	晴れの国おかやま国体 100万円
17.8.3	スポーツ	100万円	34件	10件	988,640円	合 計 21件 2,988,640円
	文 化	100万円	24件	10件	1,000,000円	累 計 41件 5,841,640円

●第1回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	晴れの国おかやま国体 100万円
16.12.14	スポーツ	100万円	31件	10件	1,000,000円	合 計 20件 2,853,000円
	文 化	100万円	15件	9件	853,000円	

2 表彰の記録

●第13回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
28.11.4	スポーツ	賞	梅木 真美 関西高等学校体操競技部	格闘技 柔道 体操 体操競技
			齋藤 愛美 佐藤 友祈	陸上競技 競走 車いす陸上競技 競走(T52クラス)
	文 化	大賞	高木 聖雨	美術 書道
		特別賞	島村 光 森山 知巳	美術 陶芸(備前焼) 美術 日本画
		賞	小倉 綾乃 玉置 里美 寺坂 昌三	音楽 リード楽器(ハーモニカ) 美術 日本画 美術 書道

●第12回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
27.8.26	スポーツ	賞	荒島 夕理 井上 全悠 原田 裕成 日本 雄也 丸本 大翔	陸上競技 卓球競技 自転車競技 水泳競技 ウェイトリフティング競技
			隠崎 隆一	美術 陶芸
	文 化	賞	粟利郷太刀踊保存会 小野 耕石 河本 昭政 藤本 理恵子 森上 光月 守屋 剛志	無形民俗文化財 伝統芸能 美術 版画 美術 洋画 美術 日本画 美術 書道 音楽 ヴァイオリン

●第11回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
26.8.7	スポーツ	賞	小川 晃平 IPU環太平洋大学女子柔道部 吉備国際大学女子サッカー部 佐々木 美行 野上 竜太	体操競技 新体操 柔道競技 サッカー競技 スケート競技フィギュアの指導 自転車競技
			佐々木 英代	音楽 声楽
	文 化	特別賞	小出 公大	郷土史
		賞	須本 雅子 藤原 洋次郎 横仙歌舞伎保存会	美術 染織 美術 現代アート 無形民俗文化財 伝統芸能

●第10回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
25.10.24	スポーツ	大賞	荒木 絵里香 福元 美穂 宮間 あや 清水 聡 山口 舞	バレーボール競技 サッカー競技 サッカー競技 ボクシング競技 バレーボール競技
			水戸岡 鋭治	美術デザイン
	文 化	特別賞	佐藤 常子	美術 染織
		賞	上田 久利 岡山パッハカンタータ協会 草間 喆雄 鴻八幡宮祭りばやし保存会 難波 由城雄	美術 彫刻 音楽 合唱 美術テキスタイル 無形民俗文化財 伝統芸能 美術 写真

●第9回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
24.8.27	スポーツ	特別賞	福元 美穂 宮間 あや	サッカー競技 サッカー競技
		賞	奥村 諭志 勝又 雅弘 田中 太郎	自転車競技 陸上競技の振興 ウェイトリフティング競技
	文 化	特別賞	小谷 眞三 森川 星葉	美術 工芸 美術 書道
		賞	池上 わかな 作元 朋子 柁木 和敬 桃太郎少年合唱団	美術 洋画 美術 陶芸 音楽 声楽 音楽 合唱

●第8回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
23.7.21	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	小野 陽平 川口 敬二 興譲館高等学校陸上競技部	テニス競技 自転車競技の指導 陸上競技
			永木 伸児 中野 真奈美 藤田 健児	空手道競技 サッカー競技 ボクシング競技
	文 化	大賞	重松 清	文芸 小説
		賞	澤田 虚遊 宮内踊保存会	美術 書道 無形民俗文化財 伝統芸能
		特別賞	天満屋女子陸上競技部	陸上競技

●第7回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
22.7.5	スポーツ	栄誉大賞	高橋 大輔	スケート競技 フィギュア
		大賞	新田 佳浩	スキー競技 クロスカントリー
		賞	井上 正 県立玉野光南高等学校陸上競技部 皇后杯第28回全国都道府県対抗女子駅伝 岡山県チーム	新体操競技の指導 陸上競技 陸上競技
	文 化	大賞	井手 康人	美術 日本画
		賞	高田神社横野獅子舞保存会 諸星 美喜	無形民俗文化財 伝統芸能 美術 日本画

●第6回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
21.7.27	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	岡山県作陽高等学校ゴルフ部 木村 禎宏 山陽女子高等学校 体操部 平林金属男子ソフトボールクラブ	ゴルフ競技 車いすテニス競技 体操競技 ソフトボール競技
			高原 洋一	美術 洋画 版画
	文 化	大賞	大島の傘踊り保存会 片山 康之	無形民俗文化財 伝統芸能 美術 彫刻

事業の記録

●第5回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
20.7.29	スポーツ	大賞	天満屋女子陸上競技部	陸上競技
		賞	県立新見高等学校ソフトボール部	ソフトボール競技
			県立新見高等学校軟式野球部	軟式野球競技
	文 化	賞	福元 美穂	サッカー競技 GK
			宮間 あや	サッカー競技 MF
			該当者なし	
		大賞	該当者なし	
		賞	井手 康人	美術 日本画
			小川 尊一	美術 洋画
		賞	神代郷土民謡保存会	無形民俗文化財 伝統芸能
			津山市立北陵中学校吹奏楽部	音楽 吹奏楽
			明誠学院高等学校書道部	美術 書道

●第4回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
19.7.24	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	麻生 薫	ハンドボール競技の指導
			岡山県作陽高等学校サッカー部	サッカー競技
			岡山湯郷Belle	サッカー競技
			長田 京大	新体操競技の指導
			牧野 吉伸	ウエイトリフティング競技の指導
	文 化	大賞	山口 松太	工芸 漆芸
		賞	多胡 昭彦	天文学
			田丸 稔	美術 彫刻
			宮尾 昌宏	工芸 陶芸

●第3回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
18.7.21	スポーツ	大賞	高橋 大輔	スケート競技フィギュア
		賞	楳村 正明	ソフトテニス競技の指導
			古川 興幸	レスリング競技の指導
			森政 芳寿	陸上競技の指導
	文 化	大賞	あさの あつこ	文芸 児童文学
		賞	川島 基	音楽 ピアノ
	難波 滋		美術 洋画	
	福石神楽団		無形民俗文化財 伝統芸能	
	特別賞		岡山県剣道連盟	剣道競技
			岡山県山岳連盟	山岳競技
		岡山シーガルズ	バレーボール競技	
		関西高等学校ボート部	ボート競技	

●第2回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
17.8 .3	スポーツ	大賞	水鳥 寿思	体操競技
		賞	石本 直樹	ベンチプレス競技
			諸見里 しのぶ	ゴルフ競技
			横山 純子	陸上競技の指導
			小川 洋子	文芸 小説
	文 化	大賞	石田 宗之	美術 洋画
		賞	はやし田植え保存会	無形民俗文化財 伝統芸能
			濱坂 渉	美術 彫刻

●第1回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
16.12.14	スポーツ	大賞	武富 豊	陸上競技の指導
		賞	土井 美智江	水泳競技(マスターズ)
			藤原 佳市	体操競技の指導
			柳井 清志	ソフトボール競技の指導
			高橋 秀	現代美術
	文 化	大賞	栗井春日歌舞伎保存会	無形民俗文化財 伝統芸能
		賞	岡山フィルハーモニック管弦楽団	音楽 管弦楽
			松本 和将	音楽 ピアノ

3 イベントの記録(協賛を含む)

年度	区 分	イ ベ ント 名	実 施 日	応募数	決定数	金 額	
28	スポーツ	マルセンソフトテニス教室 主管 岡山県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部 後援 岡山県ソフトテニス連盟 講師 大庭彩加（山陽新聞倉敷支社） 杉本 瞳（職員） 深澤昭恵・森原可奈（東芝姫路所属） （岡山県総合グラウンド内 南テニスコート） チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC）	28.6.18 28.6.26	—	18日 4校33名 26日 5校35名	26.5万円	
		岡山県文化連盟・文化講演会（共催） 「文化のつどい」 「青木研岡山でスウィングする」4弦バンジョーの世界 （天神山文化プラザホール）	28.9.16～18	410	200組 400名	現物寄贈	
	文 化	マルセン文化教室「井手康人の日本画教室」 ・社会人対象（作品展示 倉敷市立美術館「春の院展会場」） ・高校生対象（作品展示 天満屋葦川開館「院展会場」） 後援 岡山県教育委員会 日本美術院「地域連携教育プログラム」 講師 井手康人（同人） 藤田和美（院友） （岡山県生涯学習センター美術教室）	28.12.2 28.6.3 28.12.23	—	—	—	29.7万円
		チケットプレゼント 川島基ピアノリサイタル（ルネスホール）	28.5.1	79組 157名	20組 40名	12万円	
		チケットプレゼント 第71回春の院展倉敷展（倉敷市立美術館）	28.6.29～7.10	120名	30名	現物寄附	
		チケットプレゼント マイ・ハート in さん太（山陽新聞社さん太ホール）	28.8.24	203名	100名	現物寄附	
		チケットプレゼント 種まく旅人～夢のつぎ木～（ロケ地：赤磐市他 上映：県下6映画館）	28.10.22～	381組 761名	100組 200名	20万円	
		チケットプレゼント 再興第101回院展岡山会場 50回記念展（天満屋葦川会館）	29.1.2～15	334名	100名	6万円	
		チケットプレゼント 第31回倉敷音楽祭 倉敷のヴィルトウォーヅ Vol.2 室内楽コンサート （倉敷芸文館）	29.3.18	143名	30名	5.4万円	
	共 通	RSKラジオ「おかやま元気応援団！2016」（㈱成通提供） 助成団体活動状況報告 21団体	28.11.14～12.27	—	—	—	
	スポーツ	高体連ソフトテニス専門部強化事業に職員派遣 マルセン子どもスケート教室 共催 倉敷市スケート協会フィギュア部 後援 県教育委員会、倉敷市教育委員会、岡山県スケート連盟 ゲストスケーター無良崇人選手（日本スケート特別強化選手（洋菓子のヒロタ所属）） （ヘルスピア倉敷アイスアリーナ）	27.8.10～11 27.8.17～18	—	—	—	—
		プロバスケットボール試合（共催） 「高松ファイブアローズ対金沢武士団」 （ジップアリーナ岡山（岡山県立体育館））	28.3.19	—	—	37.8万円	
		チケットプレゼント		40	40		
チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第34回山陽女子ロードレース大会（協賛） （岡山市内）		27.9.19～20 27.12.23	530	200組 400名	現物寄贈 108万円		
文 化		岡山県文化連盟・文化講演会（文化のつどい）（名義共催） 「アート、文学、おかやまー私を育んだ岡山の文化」 講師 原田マハ（作家） チケットプレゼント フェルメール光の王国展（岡山市シティミュージアム）	27.9.17 27.4.14～5.6	307	40組 80名		
		倉魂！高校生コミック・イラストコンクール2015（協賛） 主催 倉敷芸術科学大学 （倉敷市倉敷公民館1F展示室）	募集 27.6.1～27.8.31 展示 27.12.2～6	416点 （168校）	入選52点 うち20点受賞 （大賞等）	10万円	
	岡山カルチャーゾーン30周年記念事業（協賛） 「岡山カルチャーゾーンの魅力」 （岡山県立博物館及び後楽園を中心としたカルチャーゾーン一帯）	27.7.16～9.13	—	入館者数 6,779名	10万円		
	岡山県文化連盟設立10周年記念×天神山文化プラザ開館10周年記念（協賛） 「オペラファンタジー“ヘルゼンとグレーテル”」 （岡山県天神山文化プラザホール）	27.10.31 27.11.1	—	参加者 1回 236名 2回 240名	—		
	チケットプレゼント 再興第100回院展岡山展（天満屋岡山店 6階葦川会館）	28.1.2～1.17	458	100組 200名	現物寄贈		
	チケットプレゼント 倉敷のヴィルトゥオーゾ ピアノクインテット（倉敷市芸文館）	28.3.12	126	50組 100名	18万円		
共 通	RSKラジオ「おかやま元気応援団！2015」（㈱成通提供） 助成団体活動状況報告 21団体	27.9.28～12.14	—	—	—		
26	スポーツ	第10回岡山中央スポーツ少年団ソフトボール交歓大会（協賛） 第30回全国選抜フットサル大会（協賛） （きびじアリーナ）	26.4.13 26.9.13～15	— —	— —	1万円 10万円	
		マルセンバスケットボール教室（共催） 主管 県中学生バスケット連盟 （倉敷市立東中学校体育館）	26.9.15	—	42	24万円	
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） プロバスケットボール試合（共催） 「高松ファイブアローズ対大阪エヴェッサ」 （備前市総合運動公園体育館）	26.9.20～21 26.11.2	278	190	現物寄贈 37.8万円	
		チケットプレゼント（同）		11	8	現物寄贈	
		第33回山陽女子ロードレース大会（協賛） （岡山市内）	26.11.16	—	—	108万円	

事業の記録

年度	区 分	イ ベ ント 名	実 施 日	応募数	決定数	金 額		
26	文 化	第 10 回沙美アートフェスト（協賛） （倉敷市沙美海岸・倉敷市立美術館） チケットプレゼント	26.5.10	—	—	10 万円		
		親子で学ぶてんまや水族館 「オーストラリアの海とグレートバリアリーフの世界」 （天満屋岡山店 6 階草川会館）	26.8.6 ～ 25	188	50組 100名	—		
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」（共催） 講演「音楽と私」講師 川島基氏（東京音楽大学ピアノ科専任講師） 聞き手 西田多江（フリーアナウンサー） （ルネスホール）	26.8.7	—	—	15 万円		
		マルセン親子写真教室（主催） 講師 難波由城雄氏（第 10 回マルセン文化賞受賞者） （龍の森グリーンシャワーの森）	26.9.27	10 組	10組 22名	8.8 万円		
		池田綱政公 300 年遠諱記念事業（協賛） 特別展 護国山曹源寺～岡山藩主池田氏菩提寺の至宝と文化～ （岡山県立博物館）	26.10.10 ～ 11.16	—	—	30 万円		
		倉魂！高校生コミック・イラストコンクール 2014（協賛） 主催 倉敷芸術科学大学 （倉敷公民館）	26.11.26 ～ 30	—	—	10 万円		
		チケットプレゼント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第 46 回定期演奏会 （岡山シンフォニーホール）	27.1.24	250 通	20組 40名	19 万円		
		倉敷ダニエル・オストの花と心 ―西洋と日本の架橋―（名義協賛） （倉敷大原家本邸 / 有隣荘（旧別邸）大原美術館工芸・東洋館中庭）	27.3.1 ～ 4	—	—	名義		
		チケットプレゼント 同上		575 通	100名	現物寄贈		
		チケットプレゼント トーマ・ヤンソン生誕 100 年記念「ムーミン展」 （岡山県立美術館）	27.3.20 ～ 4.19	779 通	150組 300名	現物寄贈		
		共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2014」（㈱成通提供） 助成団体活動状況報告 22 団体	26.9.3 ～ 11.19	—	—	—	
		スポーツ	厚生労働大臣杯争奪第 63 回全日本実業柔道団体対抗大会（協賛） （岡山県体育館 桃太郎アリーナ）	25.6.15 ～ 16	—	—	10 万円	
			第 36 回岡山県道場少年剣道大会（後援） （倉敷市玉島の森体育館）	25.6.22	—	—	名義	
			チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC）	25.9.21 ～ 22	258 通	145名	現物寄贈	
			チケットプレゼント プロバスケットボール試合（共催） 「高松ファイブアローズ対島根スサノオマジック」 （備前市総合運動公園体育館）	25.10.27	43 通	20名	35 万円	
			「第 32 回山陽女子ロードレース大会」（協賛） （岡山市内）	25.12.23	—	—	105 万円	
成通グループ・（公財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	26.3.2		—	96名	—			
25	文 化	チケットプレゼント 東北楽天ゴールデンイーグルス主催プロ野球オープン戦 （マスカットスタジアム）	26.3.4 / 3.5 / 3.7 / 3.8 / 3.9	1,203 通	50名	現物寄贈		
		「第 9 回沙美アートフェスタ」（協賛） （倉敷市沙美海岸）	25.5.11	—	—	10 万円		
		チケットプレゼント 大野雄二&ルパンティック・ファイブルパンティック・ジャズナイト （岡山シンフォニーホール）	25.5.17	265 通	25組 50名	17.5 万円		
		The Wave Quartet マリンバ・リサイタル／マスタートークラス（協賛） （公社）岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」（共催） 講演「美作国建国 1300 年～津山洋学・知は海より来る～」臼井洋輔氏（元 吉備国際大学教授） （天神山文化プラザホール） 講演「日本から始まった柔道文化」古賀稔彦氏（環太平洋大学教授（柔道家・ 医学博士）） （天神山文化プラザホール）	25.7.17	—	—	10 万円		
		創立 10 周年記念「表彰者色紙展 / 自然と遊ぶ・写真展」（主催） 第 1 回～第 9 回までのスポーツ・文化大賞等の揮毫色紙及び信朝寛監事の 写真展示 （天神山文化プラザ）	25.7.20 / 9.19	—	—	39 万円		
		書籍プレゼント 「卑弥呼は近江か出雲か吉備か」 倉魂！高校生コミック・イラストコンクール 2013（協賛） （天満屋倉敷店 6 階） 如月 水墨画展（後援） （さん太ギャラリー） 書籍プレゼント みんなで学ぶ「ふるさと美作のあゆみ」 チケットプレゼント 「レオナルド・ブジタとパリ 1913-1931」展 （岡山県立美術館）	25.8.13 ～ 8.18	—	—	88.3 万円		
		～ 26.2.8	179 通	28名	現物寄贈			
		25.10.6 ～ 7	—	—	10 万円			
		25.10.1 ～ 10	—	—	名義			
		～ 26.2.8	71 通	10名	1.5 万円			
		26.2.21 ～ 4.6	336 通	150組 300名	現物寄贈			
		共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
		24	スポーツ	チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
				成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11	29 チーム	200名	—
				共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ～ 12.17	—	—
23	文 化			チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
		成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11	29 チーム	200名	—		
		共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
		22	文 化	チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11			29 チーム	200名	—		
共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体			25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
21	文 化			チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
		成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11	29 チーム	200名	—		
		共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
		20	文 化	チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11			29 チーム	200名	—		
共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体			25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
19	文 化			チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
		成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11	29 チーム	200名	—		
		共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
		18	文 化	チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11			29 チーム	200名	—		
共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体			25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
17	文 化			チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
		成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11	29 チーム	200名	—		
		共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
		16	文 化	チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11			29 チーム	200名	—		
共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体			25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
15	文 化			チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
		成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11	29 チーム	200名	—		
		共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
		14	文 化	チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11			29 チーム	200名	—		
共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体			25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
13	文 化			チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
		成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11	29 チーム	200名	—		
		共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
		12	文 化	チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11			29 チーム	200名	—		
共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体			25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
11	文 化			チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
		成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11	29 チーム	200名	—		
		共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
		10	文 化	チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11			29 チーム	200名	—		
共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体			25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
9	文 化			チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
		成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11	29 チーム	200名	—		
		共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
		8	文 化	チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11			29 チーム	200名	—		
共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体			25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
7	文 化			チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
		成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11	29 チーム	200名	—		
		共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
		6	文 化	チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11			29 チーム	200名	—		
共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体			25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
5	文 化			チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
		成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11	29 チーム	200名	—		
		共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
		4	文 化	チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11			29 チーム	200名	—		
共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体			25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
3	文 化			チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
		成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11	29 チーム	200名	—		
		共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
		2	文 化	チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11			29 チーム	200名	—		
共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体			25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	
1	文 化			チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC） 第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.9.15 ～ 16	153 通	120枚	20 万円
					24.11.11	106	106名	42 万円
		成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11	29 チーム	200名	—		
		共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ～ 12.17	—	—	—	

事業の記録

年度	区 分	イ ベ ント 名	実 施 日	応募数	決定数	金 額
21	文 化	「第5回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	21.5.16	—	—	10万円
		チケットプレゼント 「朝鮮王朝の絵画と日本」 (岡山県立美術館)	21.6.5～7.12	187通	200名	16.6万円
		プレゼント 絵はがき(写真コンテスト入賞作品)	21.7.25～29募集	206通	150名	15.2万円
		「スポーツ・文化の振興」論文募集・入賞者表彰式	21.9.1～10.31募集	25点	7点	25.4万円
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成)				
		「モネと日本 - 睡蓮がつなぐ世界」高階秀爾大原美術館長	21.9.5／9.12	—	—	35万円
		「古筆の魅力」島谷弘幸東京国立博物館学芸研究部長				
		「2009 マーチング・イン・オカヤマ」(協賛)	21.10.11～12	—	—	10万円
		(株)NHK文化センター				
		「アンデルセン in ホテルオークラ岡山」(協賛)	22.2.21	—	—	5万円
20	ス ポー ツ	チケットプレゼント 「悠久への回帰 高橋秀展」 (岡山県立美術館)	22.3.5～4.4	178	100名	8.4万円
		「第31回岡山県少年剣道練成大会」(協賛) (倉敷市水島緑地福田公園体育館)	20.6.7	—	—	10万円
		「第1回倉敷国際少年野球大会」(協賛) (倉敷マスカット球場他)	20.8.23～24	—	—	10万円
		「第27回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	20.12.23	—	—	105万円
		「マルセン少年陸上競技教室」開催 講師 山口衛里(天満屋女子陸上部コーチ) (県陸上競技場・補助グラウンド)	21.3.8	—	255名	32万円
		「第24回全国高等学校新体操選抜大会」(協賛) (桃太郎アリーナ)	21.3.26～28	—	—	10万円
		「第25回全国高等学校体操選抜大会」(協賛) (桃太郎アリーナ)	21.3.28～29	—	—	10万円
		「第4回沙美アートフェスト」(協賛) (沙美小学校体育館)	20.5.10	—	—	10万円
		チケットプレゼント 「おかやま国際音楽祭 2008」(成通グループ提供)	20.10.4	444通	100名	—
		(岡山城天守閣前広場)				
19	文 化	「岡山学びフェスタ 2008」「マルセンバルーンアート教室」開催 (岡山県生涯学習センター)	20.11.9	—	220名	7.4万円
		「おかやま子ども民俗芸能大会」(協賛) (倉敷芸文館)	20.11.8	—	—	10万円
		岡山県文化連盟「文化講演会」(協賛) 講演 熊倉功夫 伊勢崎 淳	20.11.30／12.21	—	—	35万円
		「マルセン写真コンテスト及び写真展」開催 (天満屋岡山店地下タウン)	21.2.25～3.2	270点	36点	30万円
		「第30回岡山県少年剣道練成大会」(協賛) (倉敷市水島緑地福田公園体育館)	19.6.9	—	—	10万円
		「第26回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	19.12.23	—	—	105万円
		「第56回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	20.2.11	—	—	10万円
		「マルセン少年サッカー教室」開催 ～湯郷 Belle の選手を招いて～ (岡山ドーム)	20.3.8	—	207名	43万円
		「第3回沙美アートフェスト」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	19.5.12	—	—	10万円
		くらしきウィーク 2007 in Kansas City (協賛)	19.7.25～8.1	—	—	10万円
18	ス ポー ツ	岡山県文化連盟「文化講演会」(協賛) 「書道」「美術」「シンポジウム」	19.9.9・15・23	—	—	35万円
		第19回全国生涯学習フェスティバル 「まなびピア岡山 2007」「生涯学習見本市」へ出展(桃太郎アリーナ)	19.11.2～6	県総合グラウンド入場者 17万2千人		48万円
		「受賞者の写真・高橋輔選手のコスチューム」等展示				
		「第25回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	18.12.23	—	—	105万円
		「第55回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	19.2.11	—	—	10万円
		「ポスト国体・フラワーロード事業」(協賛)	—	—	—	10万円
		「第2回沙美アートフェスト」(協賛) (沙美小学校体育館 展覧会 倉敷市立美術館)	18.5.13	—	—	10万円
		「川島 基ピアノリサイタル」開催 (岡山県立美術館ホール)	18.11.3	431通	200名	約40万円
		コミュニティライブラリーの開設 「晴れの国おかやま国体写真展 あの感動をもう一度!」 表彰者紹介コーナー・映像コーナー設置(岡山会館1階)	18.8.4～19.2.16	—	—	—
		岡山桃太郎アリーナ落成記念 「オリンピックメダリスト体操競技演技会」(協賛)	17.6.5	—	—	21万円
17	文 化	「第24回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	17.12.23	—	—	105万円
		「第54回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	18.2.11	—	—	10万円
		チケットプレゼント 松本和将「ベートーヴェン3大協奏曲のタベ」 (岡山シンフォニーホール)	17.4.30	—	100名	30万円
		チケットプレゼント 岡山デジタルミュージアム開館記念「新シルクロード展」	17.10.21～12.18	452件	100名	9万円
		「あそべる! おもちゃ展」(協賛) (岡山デジタルミュージアム)	18.2.17～22	—	—	10万円
		「第23回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	16.12.23	—	—	105万円
		チケットプレゼント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会 (岡山シンフォニーホール)	17.3.11	710件	100名	36万円
16	ス ポー ツ					

平成28年度 収支計算書(損益計算ベース) (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

科 目	平成 28 年度予算			平成 28 年度			増 減
	当初予算	更正額	更正後予算	公益部門	管理部門	合 計	
* 一般正味財産増減のみ							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	25,000		25,000	25,000	0	25,000	0
定期預金利息	25,000		25,000	25,000	0	25,000	0
受取寄付金	21,302,000		21,302,000	19,537,311	462,689	20,000,000	△ 1,302,000
受取寄付金	21,302,000		21,302,000	19,537,311	462,689	20,000,000	△ 1,302,000
雑収益	0		0	104	11	115	115
受取利息	0		0	104	11	115	115
雑収益	0		0	0	0	0	0
経常収益計	21,327,000	0	21,327,000	19,562,415	462,700	20,025,115	△ 1,301,885
(2) 経常費用							
事業費	19,580,000	7,000	19,587,000	19,562,415	0	19,562,415	24,585
役員報酬	0	34,000	34,000	33,411		33,411	589
給料手当	3,900,000	△ 180,000	3,720,000	3,717,469		3,717,469	2,531
法定福利費	320,000	290,000	610,000	609,741		609,741	259
福利厚生費	0	12,000	12,000	11,565		11,565	435
広告宣伝費	0		0	0		0	0
荷造運賃	180,000	21,000	201,000	200,886		200,886	114
賃借料	497,000	△ 80,000	417,000	416,688		416,688	312
電力料				2,660		2,660	△ 2,660
諸会費	0		0	0		0	0
交際接待費	100,000	46,000	146,000	145,584		145,584	416
旅費交通費	163,000	168,000	331,000	330,558		330,558	442
通信費	180,000	△ 25,000	155,000	154,274		154,274	726
消耗品費	490,000	61,000	551,000	547,550		547,550	3,450
租税公課	0	12,000	12,000	11,880		11,880	120
減価償却費	0		0	0		0	0
地代・家賃	2,700,000	216,000	2,916,000	2,916,000		2,916,000	0
保険料	0	4,000	4,000	3,008		3,008	992
修繕費	90,000	△ 88,000	2,000	0		0	2,000
助成事業費支出	2,100,000	△ 10,000	2,090,000	2,089,006		2,089,006	994
表彰事業費支出	3,800,000	△ 95,000	3,705,000	3,700,000		3,700,000	5,000
イベント事業費支出	1,000,000	△ 565,000	435,000	434,000		434,000	1,000
広報啓発事業費支出	300,000	△ 280,000	20,000	17,384		17,384	2,616
印刷費	400,000	191,000	591,000	590,593		590,593	407
後援費	1,500,000	580,000	2,080,000	2,080,000		2,080,000	0
雑費	1,860,000	△ 305,000	1,555,000	1,550,158		1,550,158	4,842
管理費	1,747,000	△ 7,000	1,740,000	0	1,929,140	1,929,140	△ 189,140
役員報酬	540,000	△ 6,000	534,000		529,007	529,007	4,993
給料手当	360,000	54,000	414,000		413,052	413,052	948
福利厚生費	30,000	38,000	68,000		67,748	67,748	252
法定福利費		145,000	145,000		144,485	144,485	515
退職金	0	50,000	50,000		250,000	250,000	△ 200,000
広告宣伝費	0		0		0	0	0
荷造運賃	20,000	△ 11,000	9,000		8,697	8,697	303
事業引当金	0		0		0	0	0
賃借料	0	2,000	2,000		1,620	1,620	380
諸会費	10,000		10,000		10,000	10,000	0
交際接待費	100,000	△ 74,000	26,000		25,825	25,825	175
旅費交通費	37,000	△ 11,000	26,000		25,679	25,679	321
通信費	20,000	6,000	26,000		25,199	25,199	801
消耗品費	10,000	1,000	11,000		10,290	10,290	710
租税公課	0	3,000	3,000		2,280	2,280	720
減価償却費	0		0		0	0	0
地代・家賃	300,000	24,000	324,000		324,000	324,000	0
修繕費	10,000	△ 10,000	0		0	0	0
諸謝金	0		0		0	0	0
印刷費	0		0		0	0	0
雑費	310,000	△ 218,000	92,000		91,258	91,258	742
経常費用計	21,327,000	0	21,327,000	19,562,415	1,929,140	21,491,555	△ 164,555
当期経常増減額	0	0	0	0	△ 1,466,440	△ 1,466,440	△ 1,466,440
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
(2) 経常外費用							
当期経常外増減額							
他会計振替							
当期指定正味財産増減額							
正味財産期首残高	2,237,734		2,237,734			2,237,734	0
正味財産期末残高				0		771,294	△ 1,466,440

貸借対照表 (平成 29年 3月 31日 現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流 動 資 産			
現金預金	1,761,252	3,553,016	△ 1,791,764
貯蔵品	3,196	5,886	△ 2,690
未収金	137,017	114,189	22,828
仮払金	0	10,160	△ 10,160
前払費用	27,000	27,000	0
未収消費税	0	0	0
立替金	0	0	0
流動資産合計	1,928,465	3,710,251	△ 1,781,786
2 固 定 資 産			
(1)基本財産			
基本財産	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2)特定資産			
特定預金	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
ソフトウェア	0	0	0
その他の固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	100,000,000	100,000,000	0
資産合計	101,928,465	103,710,251	△ 1,781,786
II 負債の部			
1 流 動 負 債			
未払金	1,209,338	1,460,884	△ 251,546
預り金	△ 52,167	11,633	△ 63,800
未払消費税等	0	0	0
未払法人税及び住民税	0	0	0
流動負債合計	1,157,171	1,472,517	△ 315,346
2 固 定 負 債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,157,171	1,472,517	△ 315,346
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	771,294	2,237,734	△ 1,466,440
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	100,771,294	102,237,734	△ 1,466,440
負債及び正味財産合計	101,928,465	103,710,251	△ 1,781,786